

官 業 號 外

大正十四年二月十八日 水曜日

内閣印刷局

○第五十回 衆議院議事速記録第十五號

大正十四年二月十七日(火曜日)午後一時十
九分開議

議事日程 第十四號

大正十四年二月十七日
午後一時開議

質問

一 山林政策ニ關スル質問(坂東幸太郎君提出)

二 教育ニ關スル質問(山下谷次君提出)

三 教育上ノ新主義ニ關スル質問(中村嘉祐君提出)

四 外交及經濟ニ關スル質問(山本厚三君提出)

五 俸儀重君提出)

六 財產組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

七 商業會議所法中改正法律案(山本厚三君外二名提出)

八 鐵道敷設法中改正法律案(橋本喜造君外五名提出)

九 教育ノ機會均等ニ關スル建議案(山本政二君提出)

十 義務教育普及助成ニ關スル建議案(服部英明君提出)

十一 社會教育局設置ニ關スル建議案(樋口秀雄君提出)

十二 國定教科書ノ翻刻並販賣ノ改

質問

十三 航空行政中央統一機關設置ニ

關スル建議案(長岡外史君提出)

十四 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關

スル建議案(佐々木春作君外四名提

出)

十五 男子用通常禮服ニ關スル建議

案(菊池謙一郎君提出)

十六 肥料政策確立ニ關スル建議案

(齋藤藤四郎君外四名提出)

十七 國防會議設置ニ關スル建議案

(蟻川五郎作君提出)

十八 駐賃價格均衡ニ關スル建

議案(土井權大君外一名提出)

十九 農業理想村補助ニ關スル建議

案(木檜三四郎君提出)

二十 濘川長野原間鐵道速成ニ關ス

ル建議案(木檜三四郎君提出)

二十一 猿投神社昇格ニ關スル建議

案(岡本實太郎君提出)

二十二 山田豊岡間鐵道速成ニ關ス

ル建議案(齋藤隆夫君外二名提出)

二十三 青少年訓練實施ニ關スル建

議案(田中萬逸君提出)

二十四 日本銀行ノ納付金制度ニ關

スル建議案(前田房之助君提出)

二十五 實業補助教育振興ニ關スル

建議案(竹原樺一郎君外二名提出)

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセ
マス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
綿絲輸入關稅撤廢ニ關スル建議案

提出者 一柳仲次郎君

澤田 浩君

手代木隆吉君

小池 仁郎君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセ
マス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
綿絲輸入關稅撤廢ニ關スル建議案

提出者 一柳仲次郎君

澤田 浩君

手代木隆吉君

小池 仁郎君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直彦君

清瀬 一郎君

手代木隆吉君

澤田 利吉君

山本 厚三君

廣岡宇一郎君

千葉宮次郎君

直

一 帝國ノ地位責任並テ師團設置ノ歴史ニ鑑ミテ師團單位ノ變更ハ國防上政治上極メテ重要問題ト信ス
イ、四箇師團ノ減少ハ作戦上至當ト認メタルヤ即チ財政上ノ見地ヨリ爲セルニ非ス作戦上差支ナシトセルモノナルヤ從テ十七箇師團ハ今後絕對ニ動カサル所要師團數ナリヤ或ハ二十五師團ヲ必要ト力説シ或ハ二十一師團ヲ唱ヘ曩ニハ五師團ニ相當スル兵馬ヲ縮少シ今又四師團ヲ減少セムトスニ如クシテ帝國師團ノ兵馬ハ十二師團ニ縮少サル變轉輕輕餘リニ甚シカラスヤ
ロ、師團單位ヲ其ノ儘トシ全師團ノ中隊以下ノ單位ヲ整理スルコトニ依リテ四箇師團減少ノ實ヲ舉クルハ一面四箇師團減少ノ目的ヲ達シ師團單位ニ變更ヲ加ヘス又常備軍所在地ノ地方經濟ニ及ホス惡影響ナク此ノ際採ルヘキ最上ノ手段ニ非スヤ當局カ此ノ良手段ヲ採ラサリシ理由如何又師團單位ヲ其ノ儘トシ全師團ノ中隊以下ノ單位ヲ整理スルト今回ノ政府案タル四箇師團單位ノ減少トノ作戦上並地方經濟ニ及ホス利害ニ關スル比較研究如何
ハ、今回ノ陸軍ノ整理並新兵器ノ充實ハ列國ノ現勢ニ比シ極メテ不徹底ノ感ナキヤ即チ政府ハ近々陸軍ノ各般ニ亘リ根本的改造充實ノ意ナキヤ
二 東洋ノ平和ハ實ニ日支ノ協力ニ依テ期スベク勿論歐米各國トノ協調ハ必要ナリトスルモ日支ノ關係ハ國ヲ接スルカ故ニ直接利害關係ヲ有スル點ニ於テ歐米各國ト其ノ趣ヲ異ニスト信ス
イ、帝國政府ハ對外交ニ關シ東洋ニ於ケル特種ノ地位ト責任ヲ明確ニスルノ意ナキヤ
ロ、東洋ニ於ケル利害責任全ク異ナル
帝國ノ地位ト責任ヲ完ウシ得サルノ

ミナラス爲ニ支那ノ破滅ヲ招キ進ム
テ帝國ノ存立ヲ危クスルノ虞ナキヤ
ハ、單ニ滿蒙ノ利益擁護ノミヲ高唱シ
帝國ノ特種地位ト責任ヲ顧ミス全亞
細亞民族ノ爲ニ計ラサルハ遠ク歐米
ニ親シミ却テ隣邦ノ支那ト離ルルモ
ノニシテ日支ノ親善ヲ根本的ニ破ル
モノニ非サル乎
右及質問候

大正十四年二月十四日

衆議院議員今里準太郎君提出帝國國防並
外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進
候

〔別紙〕

衆議院議員今里準太郎君提出帝國國防並
外交ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一イ、今回ノ軍備整理ニ於テ師團四個ノ
減少等ヲ斷行シタルハ戰後列強軍備
ノ趨勢ト帝國ノ現狀トニ鑑ミ慎重審
議ノ結果ニシテ今回金圓セル新施設
ノ整備ヲ見ル曉ニ於テハ師團數ヲ減
少スルモ國防上ニ支障ナク寧口其不
備ヲ補ヒ得ヘシト信シ居レリ
而シテ將來内外ノ形勢ニ變化ヲ來タ
ササル限り整理後ノ威力ヲ以テセハ
國防ニ支障ナキモノト信ス

口、陸軍ハ曩ニ大正十一年ノ軍備整理
ニ當リ既ニ中隊數及中隊内ノ人員ヲ
極度ニ減少シタルヲ以テ此上更ニ中
隊以下ノ單位ニ手ヲ觸ルルコトハ動
員、作戦、教育、勤務等ノ關係ニ於
テ適當ナラスシテ今回實施セントス
ル方法ヲ最良ト信シ之ヲ採用スルコ
トトセルモノナリ

今回實施セントスル方法ハ中隊以下
ノ單位ニ手ヲ觸ルル案ニ比シ經濟的
影響ヲ蒙ルヘキ若干ノ地方ヲ見ルニ
至ルヘシト雖前述ノ要求ニ適應スル
爲ニハ亦已ムヲ得サル處ナリ

ハ、今回ノ軍備整理ハ慎重研究ヲ重ネ

二イ、政府ハ對支外交ニ關シ列強トノ協定ヲ圖ル考ナリ
二、防ニ缺陷ヲ生セサル限度ニ於テ均衡按配ヲ圖リタルモノニシテ帝國ノ現狀ニ於テ國庫ノ面目ヲ一新スル爲ニ採リ得タル最良ノ策案ナリト信シ居レリ然レトモ將來尙時代ノ要求ニ適應スル如ク内容ノ改善進歩ヲ圖ル考ナリ
三、政府ハ對支兩國特殊ノ關係ヲ顧念シ我常ニ曰支兩國對支兩國對支關係ヲ律シツツアリ
四、政府ハ前記ノ方針ニ從ヒ曰支兩國ノ利益ヲ増進スル爲最善ノ努力ヲナス覺悟ナリ何等追從ノ事實ナシ
五、政府ハ滿蒙地方ニ對スル我カ密接ナル關係ニ顧ミ同地方ニ於ケル我國ノ利益擁護上適當ナル措置ニ出ツヘキハ勿論廣ク支那全局ノ關係ニカク用半支那國民カ其康寧ノ增進ト東洋ノ平和確保トニ貢獻セムトスル努力ニ對シ出來得ル限りノ援助ヲ與ヘ以テ益兩國民間ノ親善ヲ期セムトス
右答辯候也

七
六
五
四
三
二

タル朝鮮人トノ間ニ激烈ナル小作爭議ヲ生シ其ノ累ヲ國家ニ及ボサムトス政府ノ之ニ對スル方針如何
慶尙南道尙州金鑛ハ元朝鮮人ノ舊式採掘ニ委セシカ併合後之ヲ國家ニ移シ總督府ハ大正二年鑛務所ヲ設ケ兩三年以前ヨリ官營ヲ以テ採掘ニ着手スル計畫ナリシカ俄ニ方針ヲ一變シ或資本團ニ引渡シ資本團之ヲ採掘スル由ナリシモ爾來今日ニ至リ尙著手セサルヲ以テ朝鮮人ノ疑惑喧傳ス依テ政府ハ其ノ内容ヲ闡明シ疑惑ヲ解クノ意思ナキヤ
朝鮮人ハ阿片「モルヒネ」「コカイン」等ヲ嗜好スルニ乘シ其ノ賣買ハ内地人ニ依テ盛ニ行ハレ之カ因ヲ爲シ其ノ身神ヲ萎微衰弱セシムルコト甚シ政府ハ之ヲ嚴重ニ取締ル意思ナキヤ江原道襄陽郡朱鳳山ノ國有不要林六千町歩ハ併合前地方民ノ入會燃料採取地ナリシノ故ヲ以テ當該地方ノ各方面(町村)ハ基本財產トシテ貸下出願果トナリ延テ内地人鮮融和ヲ害スルモノセルヲ無視シ之ヲ内地人ニ貸付セムトスト聞ク果シテ然ラハ朝鮮人ノ先取權ヲ排斥シ内地人ヲ曲庇スルノ結果トナリ延テ内地人ニ同情ト理解トヲト信ス之ニ對スル政府ノ所見如何
朝鮮獨立運動者ハ不逞鮮人ナリトスモ亦一種ノ偏狹ナル民族の義人ナリ故ニ之ヲ取締ルニ同情ト理解トヲ以テシ須ク兩民族融和ノ本旨ニ副ハムコトヲ要ス然ルニ由來政府ノ之ニ臨ムヤ聊カ白眼ニ偏スルノ憾ミアリ而モ之ヲ憤怒激情セシムルハ朝鮮統治上ノ障礙ヲ爲スモノナリト信ス政府ノ所見如何
朝鮮ニ在住スル内地人中朝鮮人ヲ奴隸ノ如ク嘲罵酷遇ヲ極ムル者往往アリ爲ニ其ノ餘怨國家ニ及ヒ人心離反ノ深因ヲ爲スノ傾向アリ政府ハ之等

外興業株式會社、海外移植民獎勵團體、移植民學校等ニ補助金ヲ交付シテ之ヲ助成スルノ外「ラジル」移住民ニ對シテ海外興業株式會社ヲ通シテ一人二百圓ノ渡航準備金ヲ交付シ又海外渡航者ニ對スル移民會社ノ取扱手數料ヲ補給シ其ノ他「ラジル」國ニ邦醫ヲ留學セシメ又内地移住ニ關シテハ北海道及朝鮮移住者ニ一戸當二百圓ノ補助金ヲ交付セシムル等移植民ノ獎勵保護ニ努メツツアリ而シテ大正十二年度ニ於ケル北海道移住戸數ハ一千百四十二戸、朝鮮移住戸數三十三戸ニシテ海外興業株式會社ノ取扱ニ係ル海外移植民ハ大正十一年、八三九人、大正十一年、一二七〇人、大正十二年、五二七人、大正十三年、七六七人、總計九、四〇三人ニシテ相當效果ヲ收メツツアルモノト信ス

右及答辯候也
大正十四年一月三十一日
外務大臣 男爵幣原喜重郎
内務大臣 若槻禮次郎
對支外交ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正十四年一月三十一日
提出者 東 幸治
賛成者 高見 之通
外三十五名
對支外交ニ關スル質問主意書
現地ニ省ミ遺憾甚タ多シ殊ニ事每ニ英米其ノ他ノ諸國ニ追隨シ一ノ以テ自主的外交ヲ見サルハ國論ノ歸結ニ反スルモノト認ム政府ノ所見如何
右及質問候也
大正十四年二月十六日
内閣總理大臣 子爵加藤 高明
衆議院議長柏谷義三殿
衆議院議員東幸治君提出對支外交ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員東幸治君提出對支外交ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書
政府ハ對支外交ニ關シ列國トノ協調ヲ保ツト共ニ極東ニ於ケル日本ノ地位ヲ顧念シ我對支關係ヲ律シツツアリ徒ニ外國ニ追隨シタルノ事實ナシ

右及答辯候也
大正十四年二月五日

外務大臣 男爵幣原喜重郎
内務大臣 若槻禮次郎

一今十七日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員中村嘉壽君提出外交及經濟ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山下谷次君提出教育ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山林政策重君提出教育上ノ新主義ニ關スル質問ニ對スル答辯書
山林政策ニ關スル質問主意書

三

山林政策ハ國家永遠ノ利害休戚ニ直接影響スル大問題ナリ故ニ國有公有私有等其ノ所有者ノ如何ニ關セヌ

定ノ方針ノ下ニ經營セシムルヲ可ナリト信ス之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問主意書差進候

防線ノ伐開ヲ爲シ萬一二備フル等極力火災防備ニ力ヲ致シタル結果其ノ被害漸次減少スルニ至レリ尙今後ニ於テモ本件ニ對シテハ絶ヘス研究ヲ怠ラサルコトヲ期ス

北海道ニ於ケル山火發生ノ原因ハ多ク融雪期開墾火入等ニアルヲ以テ之カ防止ノ施設トシテ一面防火線ノ開設森林主事之ニ附屬スル巡視人及騎馬巡視ノ配置其ノ他消防器具ノ配備等ノ外他面森林防火組合ノ獎勵並地方住民ノ愛林思想ノ涵養ヲ期シツツアリ漸次效果ヲ舉ケツツアルモ累年山火頻出ノ狀況ニ鑑ミ今後尙是等施設ノ十全ヲ期スルノ要アルヲ認メ目下之カ調査中ニ在リ

一、我國森林中御料林及國有林ニ付テハ施業案ヲ編成シ生產保續ノ原則ノ下ニ植伐シツツアルヲ以テ生產涸渉ヲ憂フルノ要ナシ、公私有林一般ニ付テハ樹苗養成費補助、竹林造成費補助、山林會事業費補助等ニ依リ造林ノ促進ヲ圖リ特ニ公有林ニ付テハ治水事業費ニ依リ部落有林野統一、入會整理、施業計畫案編成等ニ依リ開發ヲ圖ルノ外造林費補助ヲ爲シ更ニ進テ公有林野官行造林法ニ依リ國營造林ヲ實行シテ生產保續ノ道ヲ講シツツアリ私有林ニ付テハ其ノ過伐ノ現狀ニ鑑ミ植伐均衡ヲ得セシムル爲相當考慮中ニ屬ス

三、森林經營ニ付テハ國有林ハ勿論公私有林ニ付テモ常ニ治水其ノ他國土ノ保安ヲ考慮シ生產保續ノ方針ノ下ニ經營スル様指導シ保安關係特ニ重大ナルモノニ付テハ保安林編入其他森林法上ノ監督ヲ爲シツツアリ

右及答辯候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
農商務大臣 是清
内務大臣 若槻禮次郎

外交及經濟ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正十四年一月三十一日

提出者 中村 嘉壽
賛成者 牧山 耕藏
外三十名

外交及經濟ニ關スル質問主意書
一 輓近銀行支店ノ設置頻ニ行ハレテ政

府ハ之カ取締ヲ聲明セルモ毫モ其ノ實舉ヲナルノミカ制限ヲ受ケサル出張所派出生所ヲ濫設シテ支店ノ業務ヲ執行シツツアリ政府ハ之ヲ取締ル意思ナキヤ

町ヲ算ス是レ眞ニ國家ノ重大事ト謂フヘシ政府ハ之ニ對シ徹底的豫防計畫ヲ樹ツルノ意思ナキヤ

大正九年五月中露領「オホツク」地方漁區ニ於テ漁場建設物漁船漁具用鹽等ヲ燒葉セラレ我カ漁業者ニシテ致命

衆議院議員東幸治君提出對支外交ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書

政府ハ對支外交ニ關シ列國トノ協調ヲ保ツト共ニ極東ニ於ケル日本ノ地位ヲ顧念シ我對支關係ヲ律シツツアリ徒ニ外國ニ追隨シタルノ事實ナシ

〔別紙〕

衆議院議員坂東幸太郎君提出對支外交ニ關スル質問主意書
衆議院議員中村嘉壽君提出外交及經濟ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山下谷次君提出教育ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山林政策重君提出教育上ノ新主義ニ關スル質問ニ對スル答辯書
山林政策ニ關スル質問主意書

三

山林政策ハ國家永遠ノ利害休戚ニ直接影響スル大問題ナリ故ニ國有公有私有等其ノ所有者ノ如何ニ關セヌ

定ノ方針ノ下ニ經營セシムルヲ可ナリト信ス之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問主意書
衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問主意書差進候

防線ノ伐開ヲ爲シ萬一二備フル等極力火災防備ニ力ヲ致シタル結果其ノ被害漸次減少スルニ至レリ尙今後ニ於テモ本件ニ對シテハ絶ヘス研究ヲ怠ラサルコトヲ期ス

北海道ニ於ケル山火發生ノ原因ハ多ク融雪期開墾火入等ニアルヲ以テ之カ防止ノ施設トシテ一面防火線ノ開設森林主事之ニ附屬スル巡視人及騎馬巡視ノ配置其ノ他消防器具ノ配備等ノ外他面森林防火組合ノ獎勵並地方住民ノ愛林思想ノ涵養ヲ期シツツアリ漸次效果ヲ舉ケツツアルモ累年山火頻出ノ狀況ニ鑑ミ今後尙是等施設ノ十全ヲ期スルノ要アルヲ認メ目下之カ調査中ニ在リ

一、我國森林中御料林及國有林ニ付テハ施業案ヲ編成シ生產保續ノ原則ノ下ニ植伐シツツアルヲ以テ生產涸渉ヲ憂フルノ要ナシ、公私有林一般ニ付テハ樹苗養成費補助、竹林造成費補助、山林會事業費補助等ニ依リ造林ノ促進ヲ圖リ特ニ公有林ニ付テハ治水事業費ニ依リ部落有林野統一、入會整理、施業計畫案編成等ニ依リ開發ヲ圖ルノ外造林費補助ヲ爲シ更ニ進テ公有林野官行造林法ニ依リ國營造林ヲ實行シテ生產保續ノ道ヲ講シツツアリ私有林ニ付テハ其ノ過伐の現狀ニ鑑ミ植伐均衡ヲ得セシムル爲相當考慮中ニ屬ス

三、森林經營ニ付テハ國有林ハ勿論公私有林ニ付テモ常ニ治水其ノ他國土ノ保安ヲ考慮シ生產保續ノ方針ノ下ニ經營スル様指導シ保安關係特ニ重大ナルモノニ付テハ保安林編入其他森林法上ノ監督ヲ爲シツツアリ

右及答辯候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
農商務大臣 是清
内務大臣 若槻禮次郎

外交及經濟ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正十四年一月三十一日

提出者 中村 嘉壽
賛成者 牧山 耕藏
外三十名

外交及經濟ニ關スル質問主意書
一 輓近銀行支店ノ設置頻ニ行ハレテ政

府ハ之カ取締ヲ聲明セルモ毫モ其ノ實舉ヲナルノミカ制限ヲ受ケサル出張所派出生所ヲ濫設シテ支店ノ業務ヲ執行シツツアリ政府ハ之ヲ取締ル意思ナキヤ

衆議院議員東幸治君提出對支外交ニ關スル質問主意書ニ對スル答辯書

政府ハ對支外交ニ關シ列國トノ協調ヲ保ツト共ニ極東ニ於ケル日本ノ地位ヲ顧念シ我對支關係ヲ律シツツアリ徒ニ外國ニ追隨シタルノ事實ナシ

〔別紙〕

衆議院議員坂東幸太郎君提出對支外交ニ關スル質問主意書
衆議院議員中村嘉壽君提出外交及經濟ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山下谷次君提出教育ニ關スル質問ニ對スル答辯書
衆議院議員山林政策重君提出教育上ノ新主義ニ關スル質問ニ對スル答辯書
山林政策ニ關スル質問主意書

三

山林政策ハ國家永遠ノ利害休戚ニ直接影響スル大問題ナリ故ニ國有公有私有等其ノ所有者ノ如何ニ關セヌ

定ノ方針ノ下ニ經營セシムルヲ可ナリト信ス之ニ對スル政府ノ所見如何

右及質問候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
衆議院議長柏谷義三殿

衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問主意書
衆議院議員坂東幸太郎君提出山林政策ニ關スル質問主意書差進候

防線ノ伐開ヲ爲シ萬一二備フル等極力火災防備ニ力ヲ致シタル結果其ノ被害漸次減少スルニ至レリ尙今後ニ於テモ本件ニ對シテハ絶ヘス研究ヲ怠ラサルコトヲ期ス

北海道ニ於ケル山火發生ノ原因ハ多ク融雪期開墾火入等ニアルヲ以テ之カ防止ノ施設トシテ一面防火線ノ開設森林主事之ニ附屬スル巡視人及騎馬巡視ノ配置其ノ他消防器具ノ配備等ノ外他面森林防火組合ノ獎勵並地方住民ノ愛林思想ノ涵養ヲ期シツツアリ漸次效果ヲ舉ケツツアルモ累年山火頻出ノ狀況ニ鑑ミ今後尙是等施設ノ十全ヲ期スルノ要アルヲ認メ目下之カ調査中ニ在リ

一、我國森林中御料林及國有林ニ付テハ施業案ヲ編成シ生產保續ノ原則ノ下ニ植伐シツツアルヲ以テ生產涸渉ヲ憂フルノ要ナシ、公私有林一般ニ付テハ樹苗養成費補助、竹林造成費補助、山林會事業費補助等ニ依リ造林ノ促進ヲ圖リ特ニ公有林ニ付テハ治水事業費ニ依リ部落有林野統一、入會整理、施業計畫案編成等ニ依リ開發ヲ圖ルノ外造林費補助ヲ爲シ更ニ進テ公有林野官行造林法ニ依リ國營造林ヲ實行シテ生產保續ノ道ヲ講シツツアリ私有林ニ付テハ其ノ過伐の現狀ニ鑑ミ植伐均衡ヲ得セシムル爲相當考慮中ニ屬ス

三、森林經營ニ付テハ國有林ハ勿論公私有林ニ付テモ常ニ治水其ノ他國土ノ保安ヲ考慮シ生產保續ノ方針ノ下ニ經營スル様指導シ保安關係特ニ重大ナルモノニ付テハ保安林編入其他森林法上ノ監督ヲ爲シツツアリ

右及答辯候也

大正十四年二月十七日

内閣總理大臣 子爵加藤 高明
農商務大臣 是清
内務大臣 若槻禮次郎

外交及經濟ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正十四年一月三十一日

提出者 中村 嘉壽
賛成者 牧山 耕藏
外三十名

外交及經濟ニ關スル質問主意書
一 輓近銀行支店ノ設置頻ニ行ハレテ政

府ハ之カ取締ヲ聲明セルモ毫モ其ノ實舉ヲナルノミカ制限ヲ受ケサル出張所派出生所ヲ濫設シテ支店ノ業務ヲ執行シツツアリ政府ハ之ヲ取締ル意思ナキヤ

的損害ヲ被リタルモノアルカ之ニ對シ政府ハ如何ナル補償又ハ援助ノ途ヲ講セシヤ又今後之ヲ爲ス意アリヤ
政府ハ明治四十四年華府ニ於テ日英米露四箇國間海獸保護會議ノ結果締結セラレタル條約ハ大正十五年十一月三十日二期限滿了トナルカ政府ハ更ニ之ヲ繼續スル意思アルヤ
米國ハ第二次軍縮會議ヲ列國ニ提議スルトノ說アリ我カ政府ハ周圍ノ事情ニ鑑ミ其ノ必要ヲ認ムルヤ如何
加藤首相ハ往年大隈内閣ノ外務當局トシテ當時珍田大使ト米國國務卿「ブライアン」氏トノ間ニ進行中ナリシ曰米協定交渉ヲ切りタルカ其ノ理由及之ニ依リ生シタル日米國交ニ關スル影響如何
大正十三年七月一日ヨリ米國ニ於テ施行セル排日的新移民法ニ對シ政府ハ如何ナル交渉ヲ爲セシヤ米國ハ今後更ニ邦人子孫ノ市民權ヲ剝奪セムトノ計畫アリト聞ク果シテ然ルヤ
及質問候也

一、「オホツク」沿岸漁場損害事件ニ關する
シテハ大正十年被害者ニ對シ漁業資
金調達上ノ援助ヲ與へ且同年及翌年
自治出漁ニ當リ露領水產組合カ被害
者ニ對シ借糧料ヲ課セサルコトニ付
認可ヲ與ヘ又大正十二年六月露國政
變及西比利亞事變ニ因ル損害ニ對ス
ル救恤金下付ニ際シ損害者ニ對シ約
十万圓ヲ交付シタリ

三、脰肭獸保護條約ノ繼續方ニ關シテハ
關係國ノ意擱ヲ參酌シテ帝國ノ態度
ヲ決定スル方針ナリ

四、國際聯盟主唱ノ軍縮會議開催ニ付キ
テハ大體贊意ヲ表シ居ルモ米國政府
ノ提議セントスト傳ヘラル第二次
軍縮會議ニ付テハ其ノ開催ノ時期場
所討議ノ主要題目等ニ關シ具體的ノ
提案アルニ非ラサレハ果シテ其必要ヲ
認ム可キヤ否ヤ又其時宜ニ適スト認
ムヘキヤ否ヤヲ決スルコト能ハス
大正十三年六月珍田「ブライアン」國
務長官間ニ進行中ナリシ協約締結ノ
交渉ヲ打切りタルハ當時此ニ依リテ
縣案解決ノ見込ナシト認メタルニ因
ル又當時米國當局ハ右ニ關スル我立
場ヲ充分諒承シタルヲ以テ右ニ因リ
テ何等國交上邊影響ヲ及シタリト認
メス

五、一九二四年米國移民法ニ對スル五月
三十一日附日本政府抗議並之ニ對ス
ル六月十六日附米國政府回答ハ當時
政府ヨリ公表シタル所ニシテ既ニ周
知ノ事實ナリ其後ニ於ケル本件交渉
ニ對スル日本政府ノ立場ニ就テハ既
ニ本議會開會ノ當初本大臣ノ委曲說
述シタル所ニシテ茲ニ再ヒ敍述ヲ要
セサルヘシ又米國出生兒童ニ對スル
市民權剥夺ニ關スル憲法修正案ハ米
國前議會ニ提出セラレタルモ自下開
會中ノ同國議會ニ於テ提出セラレタ
ルモノアルヲ聞カス

六、

<p>大正十四年二月十三日</p> <p>右成規ニ據り提出候也</p> <p>大正十四年一月三十日</p>	<p>教育ニ關スル質問主意書</p> <p>外務大臣 男爵幣原喜重郎</p> <p>大藏大臣 濱口 雄幸</p>
<p>提出者 山下 谷次</p> <p>賛成者 志賀和多利</p> <p>外二十九名</p>	<p>教育ニ關スル質問主意書</p> <p>教育ハ國家百年ノ大計ニシテ眞ニ國家ノ 隆昌ト人民ノ幸福ヲ計ラムト欲スレハ教 育ノ改善ヲ計ルヲ以テ第一ト爲ササルヘ カラス然ラハ政府ハ此ノ更始一新ノ時機 ニ於テ</p>
<p>一 小學校令</p> <p>中學校令</p> <p>高等學校令</p> <p>帝國大學令</p> <p>大學令</p> <p>要ヲ認ムルヤ</p> <p>三 天才秀才ヲ認ムル教育制度ヲ設クル 意思アリヤ</p> <p>四 教員ノ地位ヲ高ムヘキ制度ヲ設クル 意思アリヤ</p> <p>五 私學ヲ獎勵スルノ意思アリヤ</p> <p>六 私立學校教員ヲ優待スル意思アリヤ 人格養成ハ今日ノ制度ニテ充分ナリ</p> <p>七 ト認ムルヤ</p> <p>八 中學校ハ高等學校ノ豫備校ト認ムル ヤ</p> <p>九 思想善導ノ方法如何</p> <p>十 教員免許令ヲ改正スルノ必要アリヤ 十一 教育ノ大目的如何 右及質問候也</p>	<p>私立學校令</p> <p>高等女學校令</p> <p>師範教育令</p> <p>大學令</p> <p>要ヲ認ムルヤ</p> <p>四 教員ノ地位ヲ高ムヘキ制度ヲ設クル 意思アリヤ</p> <p>五 私學ヲ獎勵スルノ意思アリヤ</p> <p>六 私立學校教員ヲ優待スル意思アリヤ 人格養成ハ今日ノ制度ニテ充分ナリ</p> <p>七 ト認ムルヤ</p> <p>八 中學校ハ高等學校ノ豫備校ト認ムル ヤ</p> <p>九 思想善導ノ方法如何</p> <p>十 教員免許令ヲ改正スルノ必要アリヤ 十一 教育ノ大目的如何 右及質問候也</p>
<p>大正十四年二月十七日</p> <p>内閣總理大臣 千鶴加藤 高明</p> <p>衆議院議長柏谷義三殿</p> <p>質問ニ對シ別紙答覆書差進候</p>	<p>大正十四年二月十七日</p> <p>内閣總理大臣 千鶴加藤 高明</p> <p>衆議院議長柏谷義三殿</p> <p>質問ニ對シ別紙答覆書差進候</p>

別紙
衆議院議員下谷次君提出ニ係ル教育
ニ關スル質問ニ對スル答辯書
國運ノ隆昌ヲ期セんカ爲ニ教育ノ改善ヲ
圖ルハ當局ノ最モ深ク意ヲ用フル所ナリ
一 諸學校令ハ時勢ノ進進ニ應シ斷エス
之カ改正ヲ圖リツ、アリ
大學、專門學校、實業學校等今後益
其ノ擴張ノ必要ヲ認ムルト同時ニ之
カ内容ノ整備ニ力ムヘシ
從來ニ於テモ秀才ノ修學ニ關シ相當意
ヲ用ヒタレトモ尙學理ト實際ニ照シ
テ今後モ之カ研究ヲ怠ラサルヘシ
教員ノ地位ヲ高ムルコトハ當局ニ於
テ相當ニ意ヲ用ヒ今日ハ往時ニ比シ
テ大ニ優レルモノアリト信スレトモ
尙今後モ財政經濟トノ緩急ヲ計リテ
一層力ヲ盡スヘシ
内容充實セル私立學校ノ發達ハ政府
ノ希望スル所ナリ
私立學校教員ノ優待ニ就キテハ當局
ノ常ニ留意スル所ナリ
政府ハ學校教育ニ於テ人格ノ養成ノ
緊要ヲ認メ大正八年以來諸學校教育
ノ目的ヲ改正シタレトモ今後益當
事者ヲ督勵シテ一層之カ實績ヲ舉ク
ルニ力ムヘシ
中學校ハ高等普通教育ヲナスヲ目的
トスルモノニシテ高等學校ノ豫備校
ニアラス
思想善導ノ事タル朝野ノ協力ヲ要ス
ヘシト雖學校教育、社會教育ニ就キ
テハ最モ深ク意ヲ用フルノ必要アリ
之カ爲ニ斷エス當事者ヲ策勵シ且其
ノ方法ヲ研究セシメツソアリ
教員ノ免許ニ關スル規定ハ時勢ノ進
運ニ伴ヒ断エス之ヲ改正シツツアリ
十一 教育ノ大目的ハ明治二十三年下賜
セラレタル教育勅語ニ率由スルニア

ミナラズ近來ハ人造絹絲ト云フヤウナ物セ
出マシテ、寸時モ吾々蠶絲業者ノ安心ヲ許
サナイヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマ
ス、ノミニナラズ近頃ハ米國ノ蠶絲業者
ク勃興シタノデアリマス、故ニ吾々共ハ今
日我ガ蠶絲業者順調ニ發達致シテ居ルト云
フノデ、之ニ安心ヲ致シテ居ルコトガ出來
ナイノデアリマスカラシテ、今ヨリ之ニ對
スル所ノ對策ヲ講シテ置ク所ノ必要ヲ認め
ル者デアリマス、先ツ第一ニ支那ノ蠶絲業
ニ付キマシテ、意見ノ存スル所ヲ述べテ見
ヘマス者ハ、今日支那ノ蠶絲業ハ非常ニ恐
タイト思ヒマス、支那ノ蠶絲業ニ付キマシ
テハ悲觀說ヲ唱ヘル者ト、樂觀說ヲ唱ヘル
者トノ二ツアルノデアリマス、樂觀說ヲ唱
ヘマス者ハ、今日支那ノ蠶絲業ハ非常ニ恐
ロシイニヤウナコトヲ申シテ居ルケレドモ、
併ナガラ是ハ一片ノ杞憂ニ過ギナイ、論ヨ
リ證據、彼ノ上海並ニ廣東ヨリ輸出セラル
ル所ノ生絲ノ數量ハ十年一日ノ如キ狀態ニ
在ルノデアル、支那ノ動亂が相續イテ煩マ
ナイ結果ハ、決シテ支那ノ蠶絲業ガ我國ノ
勞力、貲銀モ自然昂騰スルノデアルカラシ
テ、如ク發達スル氣運ヒハナイノデアル、今日
勞力ノ豊富、低廉ヨ唱ヘルケレドモ、併ナ
グラ彼ノ支那ノ文化が發達スレバ、即チ其
那ノ面積ノ廣大ナルコト、我國ノ四十倍以
上ノ面積ヲ持テ居ル、而モ北ハ滿洲ヨリ
南ハ廣東ノ端ニ至ルマデ、到ル所トシテ桑
ノ出來ナイト所ハナイ、而モ氣候ハ良ク蠶兒
ノ飼育ニ適シテ居ルノデアル、而シテ其勞
力ノ豊富ナルコトハ、彼ノ山東省ケデモ
年々百万人前後ノ勞働者ヲ省外ニ送テ居
ルノヲ見テモ分ルコトデアル、彼等ハ最モ
安イ所ノ貯銀ニ甘ンジテ能ク働く所ノ、優
良ナル勞働者デアルノデアル、而シテ此蠶
絲業上ニ於ケル所ノ土地、面積、勞力、貢銀
銀、桑葉等ヲ斯ノ如ク遺憾ナク具備シテ居
ル所ノ支那ノ蠶絲業ハ、今日コソハ恰モ眠
レル獅子ノ如ク、死セル豚ノ如キ狀態ニ在
ルケレドモ、併ナガラ是ハ時機ノ問題デア

ルノデアル、何時マデモ今日ノ如キ状態ニ
在ルモノト云フコトハ出来ナイ、現ニ彼ノ
米國ハ我ガ日本ガ殆ド世界ノ生絲市場ヲ獨
占的ニヤンテ居ルノ深ク遺憾ト爲シテ、
此日本ノ向フヲ張ツテ蠶絲ノ生産ヲ十分ニ
ヤラシムル見込ナル所ハ支那デアルト云
フ所カラシテ、盛ニ支那ノ蠶絲業ヲ發達セ
シムベク努メテ居ルノデアル、現ニ中華合
衆國蠶絲改良會、或ハ廣東蠶業改良會、或
ハ金陵大學、嶺南學堂、又ハ上海ノ米支合
辨生絲検査所等ヲ設立ヲ致シテ、桑園ノ改
良、蠶種ノ改良、生絲ノ改良、其他諸般
ニ亘ツテ是ガ改良ヲ促シテ居ルノデアル、
斯様ナ次第デアルカラシテ、將來イツ何
時支那ノ蠶絲業ガ目ヲ覺マシテ、十分ノ活
躍ヲ致サヌトモ限ラヌノデアル、デアル
カラシテ決シテ安心ハ出來ナイノデアル、
斯様ニ悲觀說ヲ唱ヘル者ハ主張シテ居ル
ノデアリマス、其悲觀說ニモ相當ノ根據ガ
アリ、樂觀說ニモ相當ノ根據ガアルノデ
アリマスル、其孰レヲ採テ吾々共ハ進ン
デ宜シイノデアリマセウカ、此事ニ付キ
マシテ政府當局ノ御意見ノ存スル所ヲ
御伺致シテ見タイト思フノデアリマス、
第二ニ於キマシテハ人造絹絲ノ問題デアリ
マス、是ニモ悲觀說ト樂觀說トノ二ツガア
ルノデアリマス、彼ノ人造絹絲ガ佛國ノ「シ
ヤードンネー」伯ニ依クテ帆々ノ聲ヲ揚ゲマ
シテカラ四十有餘年間經チマス、最初ハ殆
ド何ノ役ニモ立タナイヤウナ、實ニ兒戲ニ
等シイヤウナ品物デアッタモノガ、今日ニ
於テハ非常ニ長足ノ進歩ヲ致シテ居ルノデ
アル、之ニ就キマシテ悲觀說ヲ唱ヘル所ノ
論者ハ、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス、
今日此人造絹絲ハ非常ナル所ノ進歩ヲ致シ
テ、火ニ耐ユル所ノ力、水ニ耐ユル所ノ力
ト云フモノハ著シク進歩致シテ、天然絹絲
ニ稍ニ近イ程度ニマデ進歩ヲ致シテ居ルノ
デアル、織度ノ如キモ、光澤ノ如キモ、殆
ド天然絹絲ニ近イ所ノ進歩ヲ致シテ居ル、
現ニ歐洲大戰前ニ於キマシテハ、世界ノ產
額ハ僅ニ六百万「キログラム」ニ過ギナカ
タノデアル、然ルニ今日ニ於テハ既ニ此四

十九百万キログラムニ達シ、非常ナル所
ノ進歩致シタルモノハ三五百万封度ニシテ、
他國ヨリ輸入致シタルモノハ五百万封度アル、斯ノ如キ多量ノ消費ヲ致スヤウニナ
リ、其消費商ハ生絲ノ約八割ニモ達シテ居
ルヤウナ有様デアル、是ガイシ何時天然絹
絲ノ如ク同ジ様ナモノガ出來ヌトモ限ラヌ
ノデアル、現ニ彼ノ「エヂソン」氏ハ養蚕テ
ア巒風ガ今ヨリ五十年經過スレバ、此地
球カラシテ一掃セラル、ニアラウト言ハレ
タガ、詰リ此天然絹絲ガ驅逐セラル、ト云
フコトハ、要スル二人造絹絲ノ爲ニ驅逐セ
ラル、ヤウナコトニナルト思フノデアル、
デアルカラ之ニ對シテハ吾々共ハ寸時モ安
心ガ出來ナイト云フノガ悲觀論者ガ主張ス
ル所デアルノデアリマス、之ニ反シマシテ
樂觀說ヲ唱ヘル所ノ論者ハ、一方ハ動物纖
維デアリ、一方ハ植物纖維デアル、如何ニ
植物纖維ガ進歩發達致シタ所ガ、到底動物
纖維ノ如キ物ニ出來ル氣遣ヒハナインデア
ル、如何ニ利學ガ進歩致シタ所ガ、天然絹
絲ト同ジヤウナ物ノ出來ル氣遣ヒハナイ、
論者動モスレバ天然ノ藍ガ人造藍ニ驅逐セ
ラレタノヲ舉ゲテ以テ此人造絹絲ノ恐ルベ
キコトヲ主張スルケレドモ、是亦一片ノ杞
憂ニ過ギナイト斯様ニ說クノデアリマスル、
此悲觀說ヲ唱ヘ樂觀說ヲ唱ヘル所ノ者ハ、矢
張支那ノ蠶絲業下同様ニ、雙方ニ相當ノ根
據ガアルト思フノデアリマス、之ニ對シマ
シテ吾々共ハ悲觀說ニ從ラテ進ムベキカ、
樂觀說ニ從ラテ進ムベキカ、此點ニ於キマ
シテ、政府當局ニ於テハ如何様ニ御考デコ
ザイマセウカ、之ヲ御伺致シテ見タイトと思
フノデアリマス、又彼ノ米國ノ蚕蠶テゴザ
イマスル、彼ノ米國ノ養蠶ハ今始メテミハ
ナイノデアリマス、御承知ノ如ク「ゼーム
ス」第一世だ、米國ニ向テ此養蠶ノ端緒ヲ
開キマシテ以來今日ニ至ルマデ、大分米國
ニ於キマシテハ此養蠶ノ獎勵ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、併ナガラ米國内亂ノ爲ニ、
或ハ獨立戰爭ノ爲ニ、若クハ煙草栽培ノ爲

養蠶ト云フモノハ發達ヲシナカツノデアリ國ノ爲メ、今日マテ本國ノマヌケテ、將來モ斯ノ如クアルベシト推測スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、現ニ是島近傳フル所ニ依リマスルト云フト、彼ノ加州ニハ隨分此養蠶熱ガ勃興致シマシテ、彼ノ島縣人ノ田村徳之助ト云フ人が五十「エーカー」ノ桑園ヲ開キマシテ、一大蠶室ヲ建テ、盛ニ之ヲ獎勵致シテ居ルノデアリマス、——養蠶熱ノ聲吹シテ居ルノデアリマス、又「サクラメント」ヲ距ルコト百哩バカリノ所ノ「ウロビール」ト云フ所ニ「パレー」ト云フ豪農ガゴザイマス、其「パレー」氏ハ百エーカーノ桑園ヲ開イテ、養蠶室ヲ建テ、盛ニ之ヲ獎勵致シテ居リマス、又紐育ノ豪商「ゴジット」氏ハ二百五十万弗ノ資本ヲ投ジテ伊太利カムラ人ヲ傭シテ、盛ニ此養蠶ヲ始メタノデヨザイマス、斯様ナ次第ゴザイマスルカラ知ノ如ク我が日本ノ本土下同ジヤウナ廣大ノ面積ヲ有シ、而モ其氣候ハ溫和ニシテ能吾々共ガ大ニ注意警戒ヲセナケレバナラヌト思フコトハデス、彼ノ加州ノ如キハ御承テシテ、米國ノ養蠶其モノニ付キマシテ王道ハ二百五十分ノ所ニテ居ルノデアリマス、タヌキ兒ノ飼育ニ適シテ居ルノデアリマス、十一月カラ三月マデハ雨季デハアリマスクレドモ、四月ヨリ十月マデノ間ハ晴天季デアリマシテ、能ク氣候ガ乾燥致シマスルカラシテ、洵ニ能ク蠶虫ガ發育スルノデアリマスル、殊ニ土地ガ肥沃ニアリマスルカラ、別ニ肥料ヲ用キマセヌデモ、能ク桑樹ハ出來ルノデアリマスル、斯様ナ次第ゴザイマシテ、彼ノ稻ノ如キモ始メハ見込ノナイヤウナモノニナシテ居リマシタケレドモ、今日ニ於キマシテハ大成功ヲ致シテ、而モ其米ナルモノガ非常ニ安ク生産セラレ、機械ヲ用キテドン^一メ^二米ヲ作^一テ居ルノデアリマスル、即チ其生産費ハ我國ノ約八分ノ五位^一位^二以テ出來ルト云フ所カラ、我國ニ於キマシテ一石四十圓前後デ賣ラナケレバ間ニ合ハナイヤウナ米モ、彼ノ亞米利加ニ於キ

マシテハ一石二十四五圓デ賣、テモ、優ニ
利益ガアルト云フコトデアリマス、斯様ナ
次第デゴサイマシテ、彼等ハ盛ニ此機械ヲ
使用シ、以テ米ノ栽培ニ成功致シテ居ルノ
デアリマスルガ、今日此亞米利加ノ勞働賃
銀デハ一日三弗乃至四弗ト云フ高イ賃銀デ
アルカラ、日本流ノ養蠶ヲヤンテハ到底間
ニ合ヒマセヌケレドモ、併ナガラ若シ桑樹
ノ栽培又ハ蠶兒ノ飼育ニ於テ機械ヲ應用ス
ルヤウナコトヲ發明ヲ致シテヤルヤウニ十
リマシタナラバ、確ニ舗一貫目ノ生產費ハ
五圓前後デ以テ上ガル所ノ見込ガアルト稱
シテ居ルノデゴザイマスル、今日我國ノ爾
一貫目ノ生產費ハドノ位デアルカト申シテ
見マスルト、大正二年ノ頃ニ於キマシテハ
僅ニ四圓位デ以テ生產スルコトガ出來マシ
タノガ、大正十二年ニ至リマシテハ一貫目
ノ生產費ハ十圓前後ヲ要スルヤウナ狀態ニ
ナフテ居ルノデアリマスル、斯様ナ次第デア
ルニモ拘ラズ、亞米利加ニ於キマシテハ此
機械ノ應用ト云フコトガ出來ルヤウニナリ
マスレバ、確ニ五圓前後デ出來ルヤウナ見
込ガアルト唱ヘテ居ルヤウナコトデアリマ
シテ、今日ニ於キマシテハ未ダ、其機械十
モノハ發明セラレタト云フコトハ聞キマ
セヌケレドモ、彼ノ亞米利加人ノコトニア
リマス、何時機械ヲ發明セヌトモ限ラナイ、
其機械ヲ應用シテドンヽ養蠶ヲヤルコト
ニナリマスレバ我國ノ最大顧客ノ亞米利加
ニシテ、此養蠶ニ成功致シマシタナラバ、
一大打擊ヲ受ケナケレバナラヌノハ我國デ
アルト思フノデアリマスル、故ニ此亞米利加
ノ養蠶ト云フコトニ付キマシテモ、決シテ
吾々共ハ之ヲ輕視スルコトガ出來ナイト思
フノデアリマスル、之ニ就キマシテハ如何
様ナ所ソ方法ヲ以テ進ンダナラバ宜イデゴ
ザイマセウカ、支那ノ養蠶ト云セ、或ハ人
造絹絲ト云ヒ、亞米利加ノ養蠶ト云ヒ、之
ニ對シテ吾々共ハ今日ヨリ之ニ對スル所ノ
方策ヲ講ジテ進マナケレバナラスト思フノ
トノニツアルト思フノデアリマスル、此對
外策ト致シマシテハ、先づ第一ニ私ハ此支

那及亞米利加ニ對シマシテ、調査研究ノ爲ニ人ヲヤウテ貴ヒタイト思フノアリ米國亦然リ、斯ク申シマシタナラバ、支那ニハ領事官モアリ商務官モ居ルコトデアリマス、特ニ此蠶絲ノ爲ニ二人ヲヤルノ必要ハ無イト云フヤウニ仰セラレルカモ知レマセヌガ、併ナガラ此領事官ト云フモノ、商務官ト云フモノニ吾々共ハ信頼シテ、之ヲ委シテ置クコトガ出来ナイノデアリマスル、支那四百餘州ノ廣大ナル所ノ彼ノ所ヘ、唯一入位ノ商務官ヲ置イテ、ソレニ依チ以テ此蠶絲業ノ十分ナル調査ヲサセヤウト云フコトハ、是ハ無理ナ注文デアルト思フノデアリマスル、故ニ少クトモ支那ニハ四、五人以上ノ調査員ヲ派シテ、而モソレハ一年ヤ二年デハナク、長イ年月ノ間、殆ド終身其調査研究ニ從事シテ居ルト云フヤウナ人ヲヤツテ貴ヒタイト云フ希望ヲ持テ居る者デアリマスル、又此支那ノ蠶絲業ハ今日ニ於キマシテハ、彼ノ支那ノ政府ガ動亂相亞イデ、殆ド統一ノ出來テ居ラナイ結果ト致シマシテ、蠶絲業ニハ何等ノ獎勵モ致シテハ居リマセヌ、併ナガラ必ズヤ早晚彼ノ支那ノ政府モ立派ニ統一セラレテ、同時ニ又有エル生産業ニ對シマシテ保護獎勵スル時代來ルモノト考ヘルノデアリマスル、之ニ對シマシテモ、或ハ我國ヨリ進シテ此日支蠶絲業ノ同盟ヲ結ブ所ノ必要ガ起テ來ヌトモ限ラヌト恩フノデアリマスル、先年伊太利カラシテ我國ニ對シマシテ、日伊蠶絲同盟ヲ結パンカト云フコトヲ申込ンダコトガアルノデアリマス、其時我國ニ於キマシテハ何等ノ之ニ答フモセズシテ、其儘ニ抛棄イタノデアリマスルガ、ソレガ爲ニ著シク伊太利蠶絲業家ノ感情ヲ害シマシテ、今日ニ於キマシテハ、我國カラ向フヘト云フコトヲ避ケルト云フヤウナコトニナテ居ルノデアリマスル、故ニ今日世界のニ蠶絲其モノ、霸權ヲ握テ居ル我國ト云フコトニシマシテハ、今左様ニ必要ヲ認メストハ言フモノ、將來此支那蠶絲業ノ發達如何

ニ依リマシテハ、大ニ其必要ヲ認ムル所ノ時代ガ來スモ限リマセニカラシテ、今ヨリ之ニ對スル所ノ準備調査ト云フヤウナコトヲ致シテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、又其次ニハ尙ホ吾々ノ希望ト致シマシテハ、此人造網絲ノ問題デアリマスル、マスル、ト云フテ之ヲ此儘ニ捨テ置イテ、植物纖維ナルモノハ決シテ動物纖維下同ジヤウナモノガ出來ル氣遣ヒハナイト云フテ、安心シテ居ル譯ニハ參ラヌノニアリマス、故ニ此人造網絲ノ爲ニハ特ニ此蠶業試驗所、並ニ蠶絲ニ關係致シテ居ル所ノ専門學校モ三ツモアルノアリマスルカラシテ、是等ノ機關ニ對シマシテモ十分研究スルヤウナ方法ヲ設ケテ載キタ一、ノミナラズ、一面ニ於キマシテハ宜シク歐米ヘ是ガ爲ニ研究スル所ノ人ヲヤシテ、十分ニ是ガ研究ヲサシテ貰ヒタトイ思フノニアリマス、尙ホ其上吾々ノ遠慮無イ所ノ希望ヲ申上げマスト云フト、先年佛蘭西ニ於キマシテ蠶病が流行致シタコトガアル、殆ド燎原ノ火ノ如ク蠶病が流行致シマシタ爲ニ、此佛蘭西ノ蠶業ハ最早尙トモスルコトガ出來ナイヤウナ窮境ニ陥ダコトガアッタノデゴザイマスルガ、其時、時ノ政府ハ一億法ノ懸賞金ヲ掲グマシテ、以テ此蠶病ヲ發見シ、同時ニ是ガ驅除ノ方法ヲバ獎勵募集致シタノデアリマス、其結果ト致シマシテ、彼ノ「ペストール」博士ハ微粒子病ナルコトヲ發見スルト同時ニ、蠶種ノ袋取法ナルモノヲ地ニ救ハレマシテ、今日ノヤウニ佛國ノ蠶業ハ行ハレテ居ル次第ゴザイマスルガ、此「ペストール」博士ニ對シマシテハ、時ノ政府ハ非常ナル所ノ感謝誠意ヲ表スルト同時ニ、貴衆兩院ハ此「ペストール」博士ニ對シマシテ、終生二千五百法ノ年金ヲ賠シマスルゴトニ可決致シタノアリマス、此「ペストール」博士ノ微粒子病發見ハ、番ニ佛蘭西ノ蠶業ガ救ハレタノミナラズ、我國三

於キマシテモ偉大ナル所ノ恩恵ヲ受ケテ居ルノデアリマスル、斯様十次第ニアリマスルカラシテ、今日我國ノ輸出品ノ大宗タルベキ所ノ此人造絹絲ニアリマスル、此人造絹絲ナルモノガ果シテ天然絹絲ト同様ナモモ安心ヲスルコトハ出來ナイノニアリマスノガ出來ルカドウカ、出來ナイナラ出來ナデ宣シイ、若シ出來タ場合ニ於テハドウスル、斯ウ云フコトニ付テハ吾々共ハ寸時セラレテ、大ニ此研究ヲ獎勵セラレンコトヲ吾々共ハ切ニ希望スル者ニアリマスルニ依フテ、之ニ對シマシテ我ガ政府ハ少クトモ十万圓位ノ懸賞金ヲ以テ、是ガ懸賞ヲセラレテ、大ニ此研究ヲ獎勵セラレンコトヲ、スペキモノガアルト思フノニアリマスル、絲業或ハ人造絹絲、米國ノ蠶業等ニ對スル所ノ唯一ノ策アリト思フノニアリマスルガ、併ナガラ其生産費ヲ低減スルト云フコトハ、如何様ニ致シタナラバ宜シイノデゴザイマセウカ、是ハ問題デアルノニアリマスル、今日養蠶ニ於キマシテモ、製絲ニ於キマシテモ、其生産費ノ大部分ヲ占ムルモノハ即チ勞働賃銀デアルノニアリマスル、其勞働賃銀ハ大正二年ノ頃ニ於キマシテハ男一人ガ一日僅ニ六十錢、女一人ガ一日僅ニ四十錢位ノモノニアリマシタノガ、大正十二年ニ至リマシテハ男一人ノ勞働賃銀ハ一圓八十錢、女一人ノ賃銀ハ一圓三、四十錢ト云フヤウナヤウコトニナッテ居リマス、斯様ナ次第ニアリマシテ、非常ナル所ノ賃銀ハ高クナラニテ居リマスルデアリマスルカラシテ、之ヲ安ク拵ヘルト云フコトハ容易ナ業デハナイノニアリマス、殊ニ今日ノ桑園ノ状態ヲ以テシテハ如何デゴザイマセウカ、今日ノ蠶兒飼育法ヲ以テシテハ如何デゴザイマセウカ、今日ノ操絲法ヲ以テシテハ如何デゴザイマセウカ、蠶兒ノ唯一駁飼

料タル所ノ桑園ハ年々幾多ノ荒廢桑園ヲ出シテ、未だ之ヲ救濟スル所ノ方法ガ見出サレスノデアリマス、蠶病ノ如キモ年々行ハレテ、現ニ近年二三年ノ間ハ、秋蠶ノ如キハ洩ニ不良ナル所ノ成績ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、此桑園ノ状態ト云ヒ、或ハ蠶兒飼育法ノ如キモ種々雜多ニ分レテ居ルノデアリマシテ、殆ド歸從スル所ヲ知ラナイヤウナ有様ニテ居ルノデゴザイマス、デアリマスカラ、先づ今日此生産費ヲ安クスルト云フコトニ付キマシテハ、勞働賃銀ノミデハゴザイマセヌ、是等蠶兒飼育法ノ改良、桑園ノ改良、桑種圃ノ改良等ニ付キマシテ、大ニ努力ナケレバ到底生産費ヲ安クシテ、食い物ヲ捨ヘルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、然ラバ是ハ如何ニ致シタナラバ宜シイカ、是等ノ研究調査機關ト致シマシテハ、農商務省ノ下ニ蠶業試驗場ガゴザイマス、此蠶業試驗場ハ蠶絲業ニ關スル所ノ調査研究ノ機關ト致シマシテハ、唯一ノ機關デアルノデアリマス、此蠶業試驗場ハ創立セラレテ既二十有三年以上ニモナッテ居ルノデゴザイマスルガ、之ニ對シマシテ世間兎角ノ批評ヲ爲ス者ハアリマスルケレドモ、併ナガラ此蠶業試驗場ナルモノガ我が蠶絲業界ニ對シマシテ、非常ナル所ノ効ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是ハ諸君既ニ御承知ノ事デアリマスガ、其蠶業試驗場ガ大正十四年度ノ豫算ニ於テ十七万圓以上ノ經費ヲ削減セラレマシタト云フコトハ、吾々共ハ先刻申上ゲマシタ如ク、蠶病問題ト云ヒ、或ハ桑園問題ト云ヒ、或ハ桑種圃問題ト云ヒ、大ニ研究調査ヲセナケレバナラヌ今日本行政整理ノ際デゴザイマスカラシテ、或ラレマシタト云フコトヲ洩ニ遺憾ニ思フ者デアリマス、是モ天引論デ已ムヲ得ナイトナイトハ言フモノハ、併ナガラ今日我國輸出品ノ大宗タル蠶絲業其モノニ對シマシテ、ハ財政整理ノ際デアリマスカラ、已ムヲ得ナイトハ言フモノハ、併ナガラ今日我國輸出

眼前ニ横濱テ居ル今日デアリマスカラ、大正十四年ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、舊スクノミナラズ、更ニ其経費ヲ増加致シマシテ、是等ノ問題ニ對シマシテ十分研究調査ノ出來ルヤウニシテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ダルノデアリマス、第一ニ于キマシテハ蠶絲局ノ問題デアリマス、是ハ昨年私ハ一ノ建議案ヲ提出シタノデゴザイマスケレドモ、武藤代議士ガ蠶業國策ニ關スル建議案ノ中ニ、此蠶絲局設置ノ事ヲバ範メテ建議ヲシテ居ラレ、又政府當局モ相當御詫解ガアルヤウニ伺ヒマシタカラ、私ハ之ヲ撤回ハ致シマシタケレドモ併ナガラ此蠶絲局設置ト云フコトハ同業者多年ノ希望デアリマスノミナラズ、我國蠶絲業ノ現狀ニ徴シマシテ、今日ノ繭絲課ダケハ廿二年ズルコトガ出來ナイ、又之ニ依テ蠶絲業界ニ横ハル大問題ヲ悉ク解決スルコトハ無理ナ註文デアラット思フノデアリマス、故ニ冀ク此蠶絲局ナルモノヲ更ニ設置致シマシテ、サウシテ内外ニ對シテ大ニ蠶絲業ノ調查ヲ爲シ、研究ヲ爲シ、更ニ斯業ノ一段ノ改良、發達ノ出來ルヤウニシテ戴キタイト云フ希望ヲ持テ居ル者デアリマス、尙ホ對内策ト致シマシテハ、横濱ニ於ケル之ヲ大ニ改良シナケレバナラヌト云フコトハ、何人モ能ク之ヲ認メテ居ル所デゴザイマスガ、之ニ對シマシテ「ゴーリドスミス」即チ亞米利加ノ紡業協會長デアリマス所ノ「ゴーリドスミス」ノ言タコトヲ私ハ引用致シマシテ、如何ニ其必要ナルカト云フコトヲ茲ニ述ベテ置キタイト思フノデアリマス、ルハ投機デアル、投機ハ全然貨物ナクシテ、所ノコトヲ考ヘル、絲價ハ投機的性質ヲ有スルモノニ非ズ現印ナクシテ品物ヲ賣貰スルモノデアル、此事實ハ日米兩

國國民ニ存ス、農産物タル蘭價ガ理由ナキ
變動ニ依リ、日本農民ニ惡影響ヲ與ヘツ、
アルハ事實ナリ、吾人ハ儂價ノ正當ナル上
ハ之ヲ認ムルモ、不正當ナル人爲的授機ニ
基ク高低ヲ、何等カノ方法ニ依リ除去セザ
ルベカラズ、横濱ノ定期取引所ガ是等ノ改
正ガ出來タニ於テハ、米國綱業家ハ全然生
絲ノ定期取引所ノ中止ヲ希望スル「云々之
ニ依ラテ如何ニ今日横濱ノ取引所ヲ改良シ
ナケレバナラヌカト云フコトガ明ニ證明セ
ラレルコト、思フノデアリマス、是等ノ事
ヲ十分ニ解決致サナケレバ、此重要品ヲ安
ク捨ヘルト云フコトハ到底望ムコトガ出来
ナイト思フノデアリマス、尙ホ詳細ニ夏
ニ於キマシテ、幸ニ政府當局ノ御意見ヲ御
伺スルヨトガ出來マスレバ洵ニ仕合セデア
ルト存ジマス(拍手)

ノ整理ニ就テハ師團數ノ減少ノ外、他ニ適當ノ方法ナキヤト云フノニアリマス、之ニ對スル陸軍大臣ノ御答辯ノ要旨ハ、陸軍ニ於テハ喫緊ノ新施設ヲ要スル、其經費ハ新ニ國庫ニ要求スルコトハ現今ノ狀勢ニ於テ到底不可能ナルガ爲ニ、經費捻出ノ方法トシテ師團減ヲ行ウタ次第アル、斯ウ云フノニアリマス、本員ガ茲ニ疑フ生ジマスコトハ、大藏大臣ハ此度行政財政ノ上三大整理ヲ行ウテ、國家財政百年ノ基礎ヲ固メラレントスル時ニ方リマシテ、陸軍ニ於テハ俄ニ足許カラ鳥ガ起ツヤウニ喫緊ノ新施設ヲ提唱セラレタノニアリマス、此新施設ハ何デアルカト申シマスレバ、歐米諸國ハ既ニ數年以前ニ歐洲太戰ニ實地ニ使用シタルモノデ、謂ハミ今ヤ將ニ陳腐ニ屬セントシツ、アルモノニアリマス、然ルニ今之ヲ俄ニ發見シタルガ如ク、之ヲ新設セントセラレルヌデアリマス、併シ選レナガラモ是ハナクテハナラナイ新施設アリマスルガ故ニ、之ヲ爲サレルト云フコトハ至極結構ナ事デアリマスガ、何故ニ今日マデ是ガ問題トナラカッタノニアリマスカ、山梨陸軍大臣ノ時ニ、先年議會ハ新兵器費トシテ九千六百万圓ニ協賛ヲ與ヘテ居リマス、是デ新施設ニ付キマシテハ今後十何年ト云フ間ハ据道デ、何等心配ナシト深ク安心シテ居タノニアリマス、我ガ陸軍ハ世界ノ何レノ陸軍ニモ立遲レテ居ラウトハ夢ニモ思ハズニ居タノニアリマス、然ルニ此信用ハ全ク裏切ラレマシテ、我ガ陸軍ハ歐米強國ノ陸軍ニ比シテ其施設ガ大ニ立遲レテ居ルト云フコレガ明ニナッタノニアリマス、抑、此責任ハ誰ガ負フベキモノニアリマセウカ、此事ニ付キマシテハ既ニ度々議會ニ於テ質問應答モアリマシタ事デアリマスカラ、本員ハ略シマスガ、是ハ過去タ事デアルカラ今更何ト言フモ致方ハナイ、斯ウ云フ陸軍大臣ノ言ヲ聞クノニアリマスルガ、テモ、法ニ從ツテ質スペキモノハ質サナケレバナラヌ、況ヤ國防上ニ大影響ヲ及ボシ

タル本件ノ如キ、大事件ヲ、其儘ニ質サズ
テ實ニ遺憾全極デアルノデアリマス、併シ
遅レナガラモ此新施設ヲ爲スガ爲ニ、陸軍
大臣ハ四個師團ニ付キマシテ、國民トシ
ムス、兎ニ角本件ニ付キマシテ、國民トシ
ムス、其威氣ト御英
レントスルノデアリマス、其御勇氣ト御英
斷ニハ満腔ノ敬意ヲ表シマス、四個師團ハ
一寸承レバ大シタ事デモナイヤウデアリマ
スルガ、日露ノ戰役ニ於キマシテ兩軍ガ沙
河ニ對陣ヲ致シテ、互ニ引張ルコトモ押ス
コトモ出來ナイ、此時ニ方リマシテ此均勢
ヲ破リテ我軍ノ大捷ヲ得マシタモノハ、申
ス迄モナク乃木軍が旅順ヨリ轉戰シタニ在
リマス、其力ハ正ニ四個師團デアルノデア
リマス、ノミナラズ此四個師團ナルモノハ
旅順ニ於テ散々ニ傷メラレマシタルモノデ
アリマシテ、謂ハミ班ダラケノモノデアル、
然ルニ其威力ハ斯ノ如ク偉大デアリマス、
尙ホ茲ニ附言致シマスルコトハ、平時ノ師
團ナルモノハ戰時ニ於テハ之ニ數倍スル所
ノ師團ヲ作ルベキ根ヲ持テ居ルト云フコ
トデアリマス、歐洲ノ大戰ニ於キマシテ獨
逸ノ如キハ平時ノ軍隊ニ數倍スル軍隊ヲ
作タノデアリマス、日本ノ事ハ私ハ存ジ
マセヌ、若シ獨逸ノ例ヲ以テ致シマシタナ
ラバ、此四個師團ナルモノハ、戰時ニ於テ
ハ或ハ六十師團トナリ、或ハ五倍シテ二十
師團トナル所ノモノデアリマス、實ニ此平
時ノ四個師團ナルモノハ泰天戰ニ於テ兩軍
ノ戰ヲ決シマシタル全日本軍ヨリモ、尙ホ
ヨリ以上大キクナル所ノ素質ノアルモノデ
アリマス、斯見クマスル時ハ歐米諸國ニ於
キマシテハ、今ヤ既ニ時勢ニ後レントスル
此新施設ヲ爲スガ爲ニ、又金額カラ申シマ
スレバ約ソ千六百万圓ヲ得ンガ爲ニ——ソ
レモ澤山元ノ掛タ師團ヲ消シテ、ソレヨリリ
千六百万圓ヲ得ンガ爲ニ拂ハレタル陸軍大
臣ノ四個師團減ト云フ犠牲ハ、實ニ偉大ナ
ルモノデアリマス、尤モ之ニ就キマシテハ
國民ニ軍事教育ヲ施シテ、其缺ヲ補ハウト
云フ御考モ陸軍大臣ニアルヤウデアリマス
ルガ、其成界ハ未知數デアリマスガ、是ハ

碎首ナル既知ノ數アリマス、ノミナテ又假令國民ニ軍事教育ヲ施シマシテモ、歩兵ハ知ラズ、騎兵、砲兵、工兵ノ如キ特利兵ノ要員ヲ之ニ依シテ得ルト云フコトハ、殆ドハ悉ク犠牲トシテ拂ハレテ後、此大犠牲ニ及バレテ然ルベキコト、信ズルノデアリマス、然ルニ教育總監部ノ如キモノハ依然トシテ今日存在シテ居ル、世界列強ノ陸軍三比ペマシテ、數年間モ立遅レテ居ル此新施設ヲ爲スニ、非常手段ヲ用キテ四個ノ師團ノ影マデモ消サウト云フ場合ニ、歐米諸國ニ於テハ例モ無イヤウナ教育總監部ノ如キモノヲ其儘存置スル必要ハ何處ニ在リマセウ、又平時ニ於テハ殆ド其必要モ認メ難イ、一昨年ノ大震災ノ時ニ東京ニ五六師團ノ兵ガ入ッタト云フヤウナ時ニ設ケマシタ所ノ東京警備司令部ノ如キモノヲ、シタ所ノ東京警備司令部ノ如キモノヲ、今日常置シテ置ク必要ハ何處ニゴザイトマセウカ、又官衙、學校、尙ホ軍隊ノ上級將校ノ如キモ其階級ヲ低下シ、又其數ヲ減じ得ベキ餘地ハアラウト信ズルノデアリマス、之ニ就テ最近ノ小サナ例ヲ申上ダマスレバ、大正三四四年頃マデハ獸醫ノ最上級ハ大佐級デ止マチ居タルノデアリマス、之ヲ全國ニ唯一人少將級ノ者ヲ作リタイト云フコトデゴザイマシタガ、是スラ出來ヌ云フノデ居タノデアル、然ルニ先日中將級ノ獸醫リマス、之ニ就テ最近ノ小サナ例ヲ申上ダマスレバ、大正三四四年頃マデハ獸醫ノ最上級ハ大佐級デ止マチ居タルノデアリマス、之ヲ全國ニ唯一人少將級ノ者ヲ作リタイト云フノデ居タノデアル、是ハ一例デアリマス、本員ガ師團數ヲ減少スル外ニ方法ハ無イノデアラチ十年前マデハ大佐級デ勤マチ居タル所ノ役人ノ位置ヲ、今日ハ中將級ニマヂシテ居ルノデアル、是ハ一例デアリマス、本員ガアラウト信ズルノデアリマス、何故ニ師團ノ如キ名木ヲ四本マデモ根カラ抜クト云フ時代ニ於テ雜木ヲ御抜キニナラナイカ、雜木モ集メマシタナラバ一本ヤ二本ノ名木ニ値スルモノガアラウト信ズルノ

テアリマス、甚外失禮ナ申分テハアリマス
ガ、之ヲ若シ忌憚ナク申シマシタナラバ、
家政ガ不如意ニナリマシテ、先代ガ折角築
キ上ダタル身代ヲ端カラ賣リナガラ、賛澤
ヲ繰ケテ居ルヤウナ感ガアルノデアリマ
ス、尙ホ之ニ關聯シテ、陸軍大臣ハ四個師
團ヲ減ズルモ、國防上ニ影響スルナシト言
カ、是ガ何レカノ時機ニ伺ヒタイツデア
ル、ノデアリマス、即チ新施設ヲ以テ之
ニ代ヘルカラト云フノデゴザイマスカ、國
防上ノ安全ヲ保障セラル、ノデアリマセウ
ト云フコトヲ、何時カノ時機ニ承リタイト
思フ、次ニ本員ガ質問致シマシタコトハ、
師團ノ數ヲ減ズル得ゾ致シ
マシテモ、砲兵ヲモ併セテ減ズルト云フコ
ト云フコトデアルノデアリマス、之ニ對ス
ル陸軍大臣ノ御答辯ノ要旨ハ、各國共ニ歩
兵ニ對スル砲兵ノ割合ヲ増スコトニ努メテ
居ル、我ガ國軍ニ於ケル此割合ハ、歐米諸
國ニ及バザルハ事實アルガ、元來國軍ノ
裝備ハ其行動スル舞臺ト相手ヲ考ヘ、又財
政ヤ工業力等ヲ考慮シテ決定スベキモノデ
アル、仍テ歐米列強軍ト同一ニセザルモ妨
グナイ、尙ホ砲兵ノ割合ハ從來ヨリ増加セ
ザルモ、其威力ハ大ニ改善セラル、筈デア
ル云々トノ答デアリマス、相當ニ長イ御答
辯デゴザイマシテ、實ハ一概ニ要領ヲ得ル
ニ苦ムノデアリマス、併シ御丁寧ナル御答
辯ニハ謝意ヲ表シマス、唯之ニ就テ當局
ハ將來ノ國防ヲ慮リマスル上ニ於テ、其行
動スベキ舞臺ダトカ、相手ダトカ云フコト
ヲ考ヘルト云フコトハ萬全ノ策デナイト云
フコトハ、本員等ノ申スマデモナイコト、
思ヒマス、實例ヲ申シマシテモ、歐洲ノ大
戦前ニ獨逸ノ軍ハ果シテ佛國ヤ白耳義ノ國
土ニ於テ、米國軍ト相見ユルコトヲ豫期シ
テ居タダアリマセウカ、即チ國防上萬全
ノ事ヲ申シマスレバ、列強中最モ強イモノ
ヲ相手ニ致シマシタ時ニ於テモ、決シテ之
ニ劣ラザル工夫ヲ爲シ置クコトニ努ムベキ

歐米強國ニ於キマスル歩兵ト砲兵トノ割合ハ、果シテ如何ナルモノデゴザイマセウカ、又其砲兵ノ殺傷力ハ哉ト共ニ著シク増大致シマシテ、今ヤ實ニ驚クベキ威力デアルノデアリマス、我が陸軍ノ歩兵ト砲兵トノ割合ハ、果シテ安心シテ居レル狀態デゴザイマセウカ、尙ホ其割合ノミナラズ、砲其モノハ比較ハ如何デアリマセウカ、若シ是ガ著シク劣テ居リマシタナラバ、實ニ重大ナル問題デアリマス、即チ不幸ニシテ一万双方相見エルコトニナリマシタナラバ、彼ハ機械ヲ以テスル、彼ハ砲火ヲ以テスルニ、我ハ血ヲ以テスル、即チ我ノ血ヲ以テ彼ノ砲火ヲ消スト云フコトニナルノデアリマス、實ニ是ハ重大デアル、斯ノ如クナルガ故ニ、之ヲ若シ見越シマシタナラバ、國民トシテ豫メ十分ニ之ヲ承リ、十分ノ覺悟ト決心トヲシテ置ク必娶ガアルノデアリマス、即チ豫メ經費ヲ出シテ之ニ備ヘルカ、或ハ然ラズシテ万一ノ時ニ血ヲ出スノ覺悟ヲシテ置クカ、二ツニ一ツノ決心ヲ要スルノデアリマス、此事ニ付テハ軍部當局トシテハ、豫メ國民トノ間ニ十分ナル諒解ヲ遂ダテ置ケベキ必要ガアリマス、斯ノ如キハ決シテ單ナル編成事項デハゴザイマセヌ、又單ナル編成事項トシテ取扱フベキモノデハナカラウト信ジマス、此二ツニ一ツノ決心ヲ要スルコトニナリマシテハ、國民ト御相談ニナリマシテ、篤ト諒解ヲ國民トノ間ニ得テ置カレル必要ハ元來十分ニアルノデアリマス、尙ホ血ヲ流スコトハ萬々忍ブト致シマシテモ、是デ果シテ戰勝、即チ國防最終ノ目的ヲ達セラル、デアリマセウカ、尤モ陸軍大臣ハ我國工業ノ狀態等ニ鑑ミテ、砲兵ヲ斯ノ如ク減ジテモ可ナリトベキモノデアルト云フコトヲ確信致シマス、然ラバ工業狀態等ガ進ミマスルナラバ、隨テ砲兵モ亦何時カ增加サレルト云フデハナカラウト信ジマス、追テ進歩發達ス御考デアルノデアリマセウカト云フコトガ

○ 疑問デアル、ソレトモ四圍ノ状況ニ大ナル
變化ナキ限りハ、一般砲兵ニ付テハ考慮ニ及バズトセラル、ノデアリマスカ、之モ疑問デアル、本員ハ甚ダ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、尙ホ此度ノ新施設デ、今後四圍ノ事情ニ特別ナル變化ナキ限り、是デ十分ナリト陸軍大臣ハシテ居ラレルノデアリマスセウカ、是モ一ツ私共ハ疑問ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、私ノ陳述ハ是デ終リマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 次ハ神崎動君

輸入超過並農村振興ニ關スル質問ノ答辯
ニ對スル神崎動君ノ意見

〔神崎動君登壇〕

○ 神崎動君 私ハ政府ニ對シマシテ輸入超過ノ防遏下農村ノ振興、此ニツノ問題ニ付キマシテ先日來質問書ヲ出しシテアッタノデアリマスガ、然ルニ答辯者ガ參リマシタガ、稍不十分ナ感ガ起リマシタカラ致シマシタ、茲ニ意見ノ陳述ヲ爲サウト思フノデアリマス、私ハ此ニツノ問題ニ關聯致シマシタガ、テ、尙ホ進ンデ關稅政策ト金利ノ高低排列マシテ、付キマシテ、政府ノ御意見ヲ伺テ見ヤウト思フノデアリマス、斯ノ如キ問題ハ先日來本會議及豫算委員會ニ於キマシテ質問應答ノ屢、繰返サレテ居ルニモ拘リマセズ、再ビ私が茲ニ論議スルト云フコトハ、稍、時後ノ感ガナイノデモナインデアリマス、併ナガラ何ト申シマシテモ此ニツノ問題ハ、我ガ日本帝國現時ノ政府問題ト致シマシテ、若クハ社會問題ト致シマシテ、最も重要ナル問題デアリマスト共ニ、又屢繰返サレマシタ質問應答ノ稍、神體ニ觸レテ居ラナイト云フ感ガ起リマシタカラ致シマシテ、私が此壇上ニ立チマシテ意見ノ陳述ヲ爲スハ、必シモ徒爾デアルマイト考ヘタカラ、此演壇ニ立タ次第アサマス、此ニソノ問題ハ最モ密接ノ關係ガアリマシテ、デゴザイマスカラ致シマシテ、私ハ此ニツ執レカノ一方ニ於キマシテ其解決ノ宜シキヲ得ナガツナラバ、他ノ一方ニ波及サレマシテ、遂フコトノ出來ナイ破目ニ陥ルノデゴザイマスカラ致シマシテ、

ノ問題ノ解決ニハ十分意ヲ用キナケレバナ
ラナイト思フノデアリマス、此二ツノ問題
ヲ高調サレマシテ、既ニ長キ歲月ヲ經テ居
リマスルニ拘リマセズ、未ダニ解決スルコ
トガ出來ナイノミナラズ、其解決ノ曙光ダ
ニ見ルコトノ出來ナイト云フコトハ、洵ニ
遺憾ニ堪ヘナイ事デアリマス、斯ノ如キコ
トデアリマスルカラ致シマシテ、最早今日
ニ於キマシテハ私ハ從來執リ來タ策ノミ
ニ依リマシテ、此二ツノ問題ヲ解決シヤウ
ト云フコトハ、決シテ策ノ得タルモノデハ
ゴザイマセズ致シマシテ、必ズヤ新政策ニ依
ラナケレバナラナイト思フノデアリマス、
政府モ茲ニ大ニ見ル所ガアリマシテ、本議
會ニ於キマシテ農村振興ト致シマシテモ、
種々ノ施設經營ニ付キマシテ案が提出サレ
テ居ルノデアリマスガ、然ルニ又輸出獎勵
ト云フコトニ付キマシテモ、輸出組合トカ
或ハ重要輸出品組合法案ノ如キモノガ提出
サレテ居ルカラ致シマシテ、是ガ實現サレ
マシタナラバ、大ニ效果ノ見ルベキモノガ
アラウト思フノデアリマス、併ナカラ私ハ
此輸入超過ノ防遏ト農村ノ振興、此二ツノ
問題ヲ解決シヤウト思ヒマシタナラバ、是非此二ツノ問
題ニ依ラナケレバナラヌト思フノデアリマ
ス、寧口私ハ此二ツノ問題ヲ徹底的ニ解シ
ヤウト思ヒマシタナラバ、是非此二ツノ問
題ニ依ラナケレバナラヌト思フノデアリマ
ス、然ルニ從來ノ政策ガ何故誤シテ居タカ
ト云フコトヲ論斷セントスルナラバ、此二
ツノ問題ヲ最初ニ唱ヘマシテ、其以後ニ於
ケル手段ニ付キマシテ詮議シナケレバナラ
ヌト思フノデアリマス、此二ツノ問題ノ高
調サレマシタノハ、確ニ大正九年頃デアフ
タト思フノデアリマス、大正八年ニ輸入超
過ヲ見テ居タノデアリマス、然ルニ歐羅
巴戰亂ガ終煩ヲ致シマシテヨリ、貿易ハ逆
ニ變ジマシテ輸入超過ヲ來シタノデアリマ
ス、大正八年ヨリ輸入超過ヲ來シマシテ今

日ニ引續イテ居ルノデアリマスガ、是ガ引續カル、ニ於キマシテハ、政黨派ノ間ニ於キマシテ、若クハ政府民間ニ於キマシテ、是ガ對策ニ大ニ苦心サレタノデアリマス、種々論議サレタノデアリマスガ、一番聲ノ高カツタノハ物價ノ引下デアッタノデアリマス、物價ノ引下ハ一般國民ノ購買力減殺ニ致アリマシテ、一般國民ノ購買力ノ減殺ハ通貨ノ縮小、通貨ノ縮小ハ消極政策ト金利ノ引上グダアッタノデアリマス、是ニ於キ本銀行ハ當時日歩一錢四五厘五厘マデ引上タノデアリマス、併ナガラ更ニ效果ガ無カツタノデアリマス、是ニ於キマシテ金利ノ引上ハ物價ノ引下ニ效果ノ無イト云フコトカ分リマシテ、他ノ物價ノ引下ニ策ヲ執タノデアリマス、實ニ遠イ詰リ通貨ノ縮小デアリマシテ、一般國民ノ購買万ノ減殺デアッタノデアリマス、是ハ淘ニ廻リ遠イコトデアリマシテ、實ニ遠イ間接ノ手段デアッタノデアリマス、然ルニ物價ヲ構成サレテ居リマス所ノモノハ勞銀、原料、金利ノ此三ツヨリ構成サレテ居ルノデアルカラ致シマシテ、其重要ナ金利ヲ引上グダタノデアリマスカラ致シマシテ、ドウシ物價ノ下ルコトハ出來ルデアリマセウ、物價ハ當然引下ダナケレバナラナカット思フノデアリマス、然ルニ其際ニ引上ゲマシタ所ノ金利ハ今日ハドノ位ニナッテ居ルカト申シマシタナラバ、一割内外ト云フコトヲ聞クノデアリマス、併シ吾々地方ニ於キマシテハ、一割内外所デハナイノデアリマス、一割二分以上ノ金利ヲ拂ツテ居ルノデアリマスガ、併シ一割内外ト假定致シマシテ、一割内外ノ利率ノ資本ニ依シテ生産サレマシタ所ノ資本ニ依リマシテ生産サレマシタ物價ト、ドウシヲ競爭スルコトガ出來ルデアリマセウ、今日物價ハドウシテモ下ラナイ所カラ致シマシテ、勞力ヲ省ク爲ニ機

械ノ應用ニ依リマシテ、大量生産的手段ニ
アラナケレバナラヌト云フ議論ヲ聞クノデ
アリマス、是ハ私ハ洵ニ至當ノ言デアリマ
シテ、必ズヤ近キ將來ニ於テ實現スルノデ
アラウト思フノダアリマスガ、併ナガラト
今申上ダマシタヤウニ、年一割内外ノ利潤
ノ資本ニ依リマシテ、購入サレマシタ所ノ
機械ニ依リマシテ生産サレマシタ物價ト、
年四朱以下ノ資本ニ依リマシテ購入サレマ
シタ所ノ機械ニ依リマシテ生産サレマシタ
ノガ、ドウシシテ競争スルコトガ出來ルデア
リマセウカ、少シク生産業ヲ解スル者デアラウト
リマシタナラバ、當然分ル事デアラウト思
フノデアリマス、今日物價ノ下ラナイ事カラヌ
ラ致シマシテ、是非金利ヲ引下ダナケレバ
ナラヌト云フコレガ理頭シ来ツダノデアリ
マスガ、然ルニ又反對者モ起テ居ルノデア
リマス、其反對ノ議論ト致シマシテハ、
今金利ヲ引下タ所ガ、決シテ物價ト云フモ
ノハ下ルモノデハナイ、金利ノ引下ト云フモ
モノハ自然ノ趨勢ニ待タナケレハナラヌ、
ト思フノデアリマス、金利ヲ引下マシテ物
價ノ引下ノ出來ナイト云フノハ矢張金利ノ
ウナ事ヲ唱ヘテ居ル人ガアルノデアリマ
ス、是ハ私ハ誤タル議論デハアルマイカ
ト思フノデアリマス、金利ヲ引下マシテ物
價ノ引下ノ出來ナイト云フノハ矢張金利ノ
ト思ヒマス、又一面ニ於キマシテハ、金利
ノ引下ニ依リマシテ何程カノ損害ヲ受ケル
所ノ國家的觀念ノ無イ銀行屋共ノ說デハナ
イカト思フノデアリマス、斯ノ如キ事デアラウ
ト思ヒマス、尚ホ今日マデ金利ヲ其儘ニ爲シテ
置イタト云フコトハ、私ハ此物價ノ引下ニ
於キマシテ金利ヲ引上マシタコトハ、確ニ
フノデアリマス、次ハ消費ノ節約デアリマ
スガ、消費ノ節約ニ依リマシテ物價ヲ引下
ヤウト云フコトハ、歷代ノ内閣、又一般國
民ガ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、消費ノ

節約上云フコトハ、洵ニ結構ナ事デアリマシテ、消費ノ節約ダ眞ニ行ハレマシタナラバ、必ズヤ物價ハ引下ルノデアラウト思フノデアリマス、今日ノ財政經濟ノ行詰リハ、我が日本帝國一般國民ノ消費ノ不相應ナル所カラ起因サレテ居ルト云フコトヲ、私ハ或ハ申サレテ居ルノデアラウト思フデアリマス、併ナガラ此消費節約ト申シマスルモノハ、容易ニ行ハレルコトハ出來ナインデアリマス、之ヲ手近ク消費節約ヲヤラウト思ヒマシタナラバ、政府事業ノ中止若クハ廢止ニ依ルカモ知レヌト思フノデアリマス、併シは今日ニ於キマシテ到底言フベクシテ行フコトノ出來ナイ事デアラウト思フノデアリマス、政府事業ト致シマシテハ、ドンナモノデアリマセウ、鐵道事業ノ如キ、道路事業ノ如キ、學校ノ如キ、港灣ノ如キモノデアリマシテ、斯ノ如キ政府事業ニ於キマシテ、我が日本帝國將來ノ文化ニ資スル所ノ最も重要ナル事業ダケデアラウト思フノデアリマス、然ルニ又斯ノ如キ事業ヲ一部モ縮小スルト云フコトニナリマシテモ、ソヨニ一般社會ノ不景氣ヲ來シマシテ、彼ノ失業者ノ如キモノヲ出シマシチ、新ナル社會問題ヲ起スカモ知レマセヌカラ致シマシテ、今日ニ於キマシテハ、政府事業ノ中止若クハ廢止ニ依リマシテ、消費ノ節約ト云フコトハ到底出來ナイ次第アラウト思フノデアリマス、斯ノ如キ事カラ考ヘマシタナラバ、消費ノ節約ナルモノハ、是非一般國民ノ各自ニ待タナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ一般各自ノ消費ノ節約ト申シマスルモノハ、容易ニ行ハレルモノデアリマセウカ、獎勵位行ハレルモノデアリマセウカ、知識階級ノ少數ナル人ニ於キマシテハ、或ハソンナ事ガ出來ヤウト思ヒマスガ、多數一般國民ニ於キマシテハ容易ニ行ハレルコトハ出來マイト思フノデアリマセウカ、消費ノ節約ト云フコトニナリマシテハ、ドウデアリマセウカ、個人ト致シマシテモ一度嗜好ノ習慣ノ付キマシタ所ノモノハ、容易ニ止メ、若クハ減殺スルコトハ出來ナイ

ノデアリマス、又飲酒ノ如キ、喫煙ノ如キニ於キマシテハドウデアリマスカ、財産生命ニ關係ガアリマシテモ、容易ニ止メルコトハ出來ナイノニアリマス、併シ飲酒ノ如キ、喫煙ノ如キハ例外ト致シマシテモ、飲食物及衣類居住ノ如キニ於キマシテモ、習慣ノ付イタモノハ容易ニ制限スルコトハ出來ナイノニアリマス、斯ノ如キモノニ向ヒマシテ、單ニ消費ノ節約ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、行ハレルモノデアリマセウカ、消費ノ節約ト云フモノハソコニ自然ノ法則ト云フヤウナモノガ現存サレテ居ルノデアリマス、消費ノ節約ヲシナハレル自然ノ法則トハ、ドンナモノニアルカト申シマシタナラバ、物價ノ高騰サレタ場合ニ、消費ノ節約ガ行ハレルノデアリマス、物價ガ下リマシタ時分ニ消費ガ盛ニナリマシテ、ソコニ消費ト云フモノグ調節サレルノデアリマス、米ノ消費ノ節約ノ行ハレルト云フコトハ、如何ナル時代デアリマセウカ、米ハ一箇年ニ五千万石生産サレマシテ、石四十圓デアリマシタナラバ翌年四千万石ニ減產サレマシテ、四十圓ノ米が四十八圓ニナリマシテ、ソコニ米ノ消費ガ行ハレルト思フノデアリマス、然ルニ斯ノ如キ場合ニ際シマシテ、五千万石生産サレタ折ニ四十圓シタ米ガ、矢張四千万石ニ減產サレマシテモ四十圓ノ價格ヲ維持シナケレバナラト云フコトヲ以チマシテ、安イ外國米ノ如キヲドシ、輸入サレマシテ、ソレデ消費ノ節約ガ行ハレルモノニアリマセウカ、米ガ少クナタタ場合ニ米價ガ騰リマスト消費ノ節約ガ行ハレルノデアリマス、食糧ノ不足ヲ來シタ時分ニ馬鈴薯ヤ、甘諸ヤ、麥ヤ、粟ノ如キモノハ自然値ノ高低ニ依ラナケレバ行ハレナイモノト思フノデアリマス、然ルニ又近來金輸出ノ解禁ニ依リマシテ、輸入超過ノ防遏ヲ圖ラウト云フ說ヲ有力ナル實業家間ニ於キマシテモ、段々唱フル者ノ端エルト云フコトヲ聞クノデアリマス、

ト云フモノが盛ニナリマシテ、其數量ニ於テ千方百頃ガ千二百万頃、千四百万頃ト殖工ルノデアリマスカラ、一方ニ於テ十五億二千万圓ト云フモノガ十九億圓、二十億圓ト云フモノヲ突破スルノデアリマス、斯ノ如キ事デアリマスカラ輸入超過ノ防遏下コロデハナイ、從來ノ輸入物貨ノ價格が超過サレマシテ、一面ニハ我ガ日本帝國ノ產業ヲ根柢ヨリ破壊スルト云フコトニラウト思フノデアリマス、殊ニ我が農村ノ如キニ於キマシテハ、大ナル脅威ヲ受ケルト云フコトヲ考へナケレバ、ナラヌト思フノデアリマス、然ラバ金輸出解禁ト云フモノハ如何ナル時ニ斷行スルカト云フコトヲ考へテ見マシタナラバ、私ハ手段ト時ト選擇バナクレバナラヌト思フノデアリマス、金輸出解禁ヲ断行スル時ハ如何ナル時デアルカト申シマシタナラバ、輸入物貨ノ滔々トシテ流入スルコトガ出來ナイト云フコトノ政策ヲ確立シテ、而シテ後デナケレバナラヌ、又弗相場ガ或ル程度マデ恢復サレタ時、此二ツヲ待タナケレバナラヌ、今日ノ如キ弗相場ニ差額ノ多イ、今日ノ如キ輸入物貨ノ滔々トシテ流入スルコトヲ制抑スルノ政策ガ幼稚ナ場合ニ、金輸出解禁ヲ断行サレマシタナラバ、我ガ日本帝國ニ於キマシテハ經濟界ニ於テハ恐ルベキ大破綻ヲ受ケマシテ、農村ニ大ナル破綻ヲ來スト云フコトヲ考へナケレバナラヌト思フノデアリマス、是モ矢張私ハ歐羅巴ノ戰亂ニ起因サレテ店ルト思フノデアリマス、只今申上ダマシタヤウニ、大正三年ヨリ同七年マデハ外國貿易ノ好況デアリマシタ爲ニ、一般國民ノ懷口合ガ好クナリマシテ、爲ニ消費が盛ニナリ、通貨が膨脹シ、勞銀ノ如キ、給料ノ如キモノガ引上ダラレマシテ、地方ノ負擔ガ非常ニ嵩ンデ來タノデアリマス、縣費ノ如キ、郡市町村費ニ於キマシテハ戰前ノ四五倍ノ多キニ上ダノデアリマス、併ナガラ農村經濟ニ於キマシテハ、農產品ノ昂騰サ

レマシタ爲ニ少シノ痛痒ヲ感ゼザルノミナラズ、彼ノ鼓撃擣ヲ夢ミル時代トナッタノデアリマス、然ルニ歐羅戦亂ガ終熄サレマスト同時ニ、農村ノ經濟ニ於キマシテハ全然困憊ニ趨クコトニナシ、是ニ於キマシテ農村ニ於キマシテモ實ニ由々敷キ大問題ト致シマシテ、是ガ對策ニ付キマシテ大ニ研究サレタノデアリマス、其手段ヲ執ツタノデアリマス、固ヨリ何程カノ効果ハアリマシテノ借入、產業組合ノ如キ、信用組合ノ如キ、購買組合ノ如キ種々ノ手段ヲ執ツタノデアリマス、ソレハ私ハ寧ロ當然デアッタラウト思フノデアリマス、農村ノ疲弊スル所ノ根柢カ、併ナカラ日ニ月ニ困憊ニ趨ク所ノ農村ヲハ救濟スルコトハ出來ナカッタノデアリマス、ソレハ私ハ寧ロ當然デアッタラウト思フノデアリマス、農村ガ日ニ困憊ニ趨ク所ノ原因ハ何デアルカト申シマシタナラバ、一旦引上ゲラレマシタ負擔ヲ更ニ輕減スルコトガ出来ナイノミナラズ、他ノ物價ノ下落サレザルニ拘ラズ、農產品ダケガ漸次下落サレタト云フコトデアッタノデアリマス、農產品ト申シマシテモ、其主ナルモノハ米ト麥トデアッタノデアリマス、米價ガ一番高カッタノハドノ位デアッタコト申シマスレバ、五十五圓以上デアッタノデアリマス、此五十五圓以上ノ米ガ或ル事情ノ爲メニ、社會ノ壓迫ノ爲ニ二十五圓以下ニナッタノデアリマス、然ルニ其後ニ少シク引締リマスレバ、三十八九圓ノ價格ヲ保ツテ居ルノデアリマス、今日ノ價格ニ於キマシテ既ニ一般化アリマス、私ハ此一事ヲ以チマシテ、如國民ニ於キマシテハ、農村ハ今日米價ナラバ十分デアラウ、是デ農村ノ疲弊ハ回復スルコトガ出来ヤウト云フコトヲ耳ニスルノリマス(拍手)三十八九圓ノ米價ハ、他ノ商

工業者ノ算盤ヲ以テ勘定サレマシタナラバ、マダニ決シテ高イトハ言ヘナイノデアリマス、室素株式會社ノ如キモノヲ創立サレテ居リマシタナラバ、此三十八九圓ガ四十圓ニナシテモ、確ニ配當ハ出來ナイノデアリマス、確ニ缺損ヲ致サナクテハナラヌト思フノデアリマス、然ルニ米價ノミニナケレバナラナイ重要ナル問題デアルト思フノデアリマス（拍手）米ノ價格ヲ斯ク冷淡ニスルト云フコトハ、ソレノ由ツテ來ル所ハ種々アルデアリマスガ、物價ガ下タカラ引下ダケレバナラヌ、消費者ニ苦情ガアルカラ米ヲ引下ダケレバナラヌト云フコトガ、澎湃トシテ、全國ニ行渡ツテ居ノデアリマス、農商務省が主トシテ稱へマシテ、有力ナル筋ガ之ニ共鳴サレタノデアリマス、物價ハ下ダケタクテハナラナイ、米ハ下ダケタクテハナラナイ、斯ウ云フコトデマシテ、言フガ儘爲スガ儘ニシテ居ツタノデアリマスガ、然ルニ他ノ生産業者ニアップハドウカト云フコトヲ考ヘテ見マシタナラバ、決シテサウデハナカツタノデアリマス、他ノ生産業者ニ於テ、如何ニ社會が雲フコトヲ合算サレマシテ、若モ原價ヲ超段ト致シマシテドウデアリマセウ、反物屋ハ原料ガ幾ラ、勞銀ガ幾ラ、金利ガ幾ラ、ス、他ノ生産業者ニ於テ、キマシテ是が云ユルコトガアリマシタナラバ、決シテ引下ゲルコトハ出來ナイノミナラズ、組合ノ力ニ於キマシテ、個人ノ力ニ於キマシテ是が云ユルコトガアリマシテドウデアリマセウ、反物屋ノ加キニ於キマシテハ穀織業ヲ制限サレテ居ツタノデアリマス、石炭採掘業者ノ如キニ於キマシテハ、石炭採掘ヲ制限サレテ居ツタノデアリマス、酒屋ノ如キニ於キマシテハ醸造ヲ制限サレマシテ、價格ノ維持

ト云フコトヲヤンテ居タ、然ルニ農民ニ於キマシテハドウデアリマセウ、實際米ハ安マスカラ、如何ニ米價ヲ下ダマシテモ、米作、制限ト云フコトヲヤッタ事ハナイ、又固ミリ行ハレル事デハナカタノデアリマス、ドノ内閣デアッタカ能ク記憶致シマセヌガ、時ノ農商務大臣ニ於キマシテハ、米價ノ引下ト云フコトヲ盛ニ唱ヘテ居タ居タノデアリマス、後續内閣ノ農商務大臣ガ米價引下ニ努力シナイト云フ考ヲ持テ居タ、ネバナラナイト云フ考ヲ持テ居タ、然ルニ農村ガ段々困憊ニ趨クニ付キマシテ、何故農村ガ斯く疲弊困憊ニ陥ルカト云フコトヲ取調べテ見マシタ所ガ、豈圖ランヤ農產品ノ下り過ぎギテ居タト云フ結果デアリマス、斯ノ如キ事カラ考ヘテ見マスレバ、一時農商務省ノ如キガ米價ヲ引下ダネバナラナイ、有力ナル方ノ米價ヲ引下ダネバナラナイト云フコトハ、米ノ價ハ原價ガドノ位ニ上ルカラ下ダネバナラナイト云フ合理的議論デハナク致シマシテ、單ニ消費者ニ共鳴サレタ所ノ議論デアルト云フコトガ分リマシテ、非常ニ驚入タノデアリマス、是ニ於キマシテ農村ニ於キマシテハ、斯ノ如キ主務省ノ下ニ立テ居タベ、到底農村ノ救濟ハ出來ナイ、農村ノ恢復ハ出來ナイ、農村ノ發展ハ出來ナイカラト云フコトデ、農務省ノ獨立ト云フコトヲ叫ンダノデアリマス、地方ニ於ケル農務省ノ獨立ト云フモノハ洵ニ熾烈デアリマシテ、不肖私等ノ如キニ於キマシテモ、其急先鋒ノ一人デアリタノデアリマス、然ルニ此十四年度ニ於キマシテ現内閣諸公ノ御計畫ニ依リマシテ、農林省ノ新設ヲ見ルコトニ立至リマシタノハ、農村ノ爲ノミニラズ、私ハ我が帝國產

業界ノ爲ニ大ニ喜ブベキ事デアラウト思フ
ノデアリマス(拍手)斯ノ如キ事デアリマシ
テ、農村ノ振興ト申シマスルモノハ極ク單
品ノ價格維持デアリマス、農產品ノ價格ノ
引上デアリマスガ、然ルニ輸入超過ノ防遏
ト云フコトニ付キマシテハ、物價ヲ引下グ
ナケレバナラナイト云フ事ト並ビ行ハレル
ノデアリマセウカ、輸入超過ノ防遏ト云フ
事ニ付キマシテハ、是非物價ヲ下ダナケレ
バナラナイト云フコトヲ一般國民ハ叫ンデ
居ルノデアル、又多數ノ農村ニ於キマシテ
ハ、是非農產品ノ價格ノ維持ヲ圖ラネバナ
ラナイト云フコトヲ叫ンデ居ルノデアリマ
スガ、此一ツノ政策ガ並ビ行ハレルモノデ
アリマセウカ、是ハ私ハ大ナル矛盾デアリマ
ハスマイカト思フノデアリマス、併シ只今
申上ダマシタヤウニ、農產品ハ確ニ割安ニ
アリマスカラ致シマシテ、或ル程度マデハマ
セウカ、ロソレダケ澤山引下ルノデアリマセウ
カ、口ヲ開ケバ物價ノ引下ト云フコトヲ叫
ンデ居ルノデアリマスガ、此物價ガ輸入超
過ノ防遏ヲスルマデ下ダルコトガ出來ルノ
テ暴利ヲ食シテ居ラナラバ、引下ダルコト
ガ出來ルノデアリマセウ、若クハ悉クノ生
産品ノ十圓ノモノガ十一二圓デアラタナラ
バ引下ダルコトガ出來ヤウト思フノデアリ
マスガ二三ノ生産品ハ例外ト致シマシテ、
普通ノ產業界ヲ見渡シマシタナラバ、私ハ
五圓ノ原價ノモノヲ四圓五十錢ニ賣テ居
ル所ノ產業者ハ澤山アルデアラウト思フノ
デアリマス、又十圓ノ價格ノモノヲ十圓デ
賣テ居ル工業者毛澤山アルデアラウト思
フノデアリマス、然ルニ輸入超過ノ防遏ノ
爲ニ物價ヲ引下ダネバナラナイト云フ聲ハ
シニ高イノデアリマス、ドウシテ此物價ヲ

引下ダルコトガ出來ルノデアリマセウ、是モ少シク産業界ニ諒解ノアル人ハ分ル事デアラウト思フノデアリマス、物價ノ引下ダト云フコトハ非常ニ低廉ナル勞銀、非常ニ低廉ナル原料ガアリマシタナラバ、引下ダルコトガ出來マセウガ、今日斯ノ如キ低廉ナル勞銀原料ヲ得ルコトハ到底出來マイト思フノデアリマス、唯私ハ此物價引下云フコトニ付キマシテハ、僅ニ金利ノ引下ノミデアラウト思フノデアリマス、先刻述べマシタヤウニ金利ハ是非引下ダケレバナラスト思フノデアリマスガ、又反対者ノ議論トシテ金利引下ト云フコトハ日本銀行ノ金利引下カモ知レナイガ、日本銀行ガ假ニ金利引下ダト致シマシテモ、他ノ有力ナル銀行ガ利子ヲ引下ダナカツタラバ、決シテ其效果ガ無イト云フコトヲ唱フル人がアリマス、是ハ間違、夕議論ト私ハ思フノデアリマス、金利ヲ引上ダマシテコトハ如何ナル事デアラウト思フノセウカ、物價引下ト云フコトニ付キマシテ、日本銀行ガ政府ノ内意ヲ受ケテ金利ヲ引上ダマシテ、今日ノ金利高ニナツテ居ルノデアリマスカラ致シマシテ、今度ハ物價引下ト云フコトニ付キマシテハ、當然政界ノ意ヲ受ケテ日本銀行ガ金利ヲ引下ダテ天下ニ範ヲ示シタナラバ、當然金利ハ引下ラナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ又今日ノ財政界ヲ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイデモ、自然ト金利ハ下ガルト云フヤウナコトヲ言シテ居ル者ガアリマスガ、是モ私ハ間違タ議論デアラウト思ヒマス、自然ノ趨勢ニ依ッテ下ガリマシタ所ノモノハ、決シテ物價ヲ下グル底ノ金利ノ引下デハナインデアリマス、今一錢四五厘マデ下リマシタナラバ、是レ以上ニ一つノ政策ト致シマシテ四五厘デモ引下ダナカツタナラバ、物價ノ引下ハ出來ナイト思フノデアリマス、斯ノ如キ勇氣ガナケレバ到底物價ハ下ラナイデアリマス、農村ノ振興、輸入超過ノ防遏

ト云フコトハ關稅政策ヨリ外ニナイト思フノデアリマス、關稅政策ト云フコトニナリマシテモ、詰リ或程度ノモノノ關稅ノ引マシタヤクテハナラヌト思フノデアリマス、斯ノ如キ事デアリマスカラ致シマシテ、私ハ政府ニ御伺シタイノハ、關稅政策ニ付テノ御意見ト、金利ニ付テノ御意見ニ付キマシテ御伺致シタインデアリマス
○議長(柏谷義三君) 藏園三四郎君
樺太廳ノ綱紀肅正ニ關スル質問ノ答辯ニ對スル藏園三四郎君ノ意見
(藏園三四郎君登壇)
「藏園三四郎君、私ノ問ハント欲スル所ハ、極メテ事實ハ簡単デゴザイマスルケレドモ、其影響スル所ハ極メテ重大ナルモノデゴザイマス、曩ニ樺太長官ノ綱紀紊亂ノ事實ニ付キマシテ、私ヨリ質問ヲ提出致シテ置キマシタ所、總理大臣ヨリ致シマシテ、想フニ此點ハ昨年ノ十二月ノ官制ニ關スルコトデアラウ、ソレナラバ不可抗力ニスルコトハ出來マセヌ、的ヲ外シタル御答辯デアルノデアリマスカラ致シマシテ、昌谷彰氏ハ大正十三年ノ十二月十五日ニ、其樺太廳ノ公布式ヲ以チマシテ、本員ハ之ニ對シテ決シテ満足ヲスル號外六件、訓令第五十五號外十一件、告示第三百九號外三件ト云フ、實ニ二十有三件ノ法規ヲ發布致シテ居ルノデアリマス、此發布ニ依リマシテ、即チ同日ヨリ此法規ヲ施行スルモノデアルカト申シマスレバ、即チ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイハラス、當然金利ハ下ガルト云フヤウナラバ、當然金利ハ引下ラナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ又今日ノ財政界ヲ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイデモ、自然ト金利ハ下ガルト云フヤウナコトヲ言シテ居ル者ガアリマスガ、是モ私ハ間違タ議論デアラウト思ヒマス、自然ノ趨勢ニ依ッテ下ガリマシタ所ノモノハ、決シテ物價ヲ下グル底ノ金利ノ引下デハナインデアリマス、今一錢四五厘マデ下リマシタナラバ、是レ以上ニ一つノ政策ト致シマシテ四五厘デモ引下ダナカツタナラバ、物價ノ引下ハ出來ナイト思フノデアリマス、斯ノ如キ勇氣ガナケレバ到底物價ハ下ラナイデアリマス、農村ノ振興、輸入超過ノ防遏

ト云フコトハ關稅政策ヨリ外ニナイト思フ此二十三件ト云フ多數ノ法規ハ、其改廢ニ基ク所ノ必要ナル事項ヲ規定シタ所ノ施行法デゴザイマス、施行ニ屬スル所ノ法規デアルノデアリマス、諸君、申スマデモナクス、斯ノ如キ事デアリマスカラ致シマシテ、私ハ政府ニ御伺シタイノハ、關稅政策ニ付テノ御意見ト、金利ニ付テノ御意見ニ付キマシテ御伺致シタインデアリマス
○議長(柏谷義三君) 藏園三四郎君
樺太廳ノ官制勅令ノ改正案ハ當時樞密院ニ御諮詢中ノコトデゴザイマシテ、政府ト雖モ果シテ其改正が政府豫期ノ如ク之ヲ實行シ得ラル、カナカト云フコトハ、未ダ未定ノ事實デアルノデアリマス、此未定ノ事實ノ事實デアルノデアリマス、此未定ノ事實ナルニモ拘ラズ、樺太廳ニ於キマシテハ既ニ之ヲ改正ヲ致シ、サウシテ多數ノ廳令ヲ發布致シマシテ、人民ニ是ガ遵守ヲ迫タ次第デアリマス、此事實ハ勅令ノ公布以前ニ當リマシテ、既ニ官憲ニ於キマシテ何等ノ權限ナキ行為ヲバ敢テ致シマシタル重大ナル違法ノ行為デアリマシテ、之ヲ正面カラ論ジマスルナラバ、全ク勅令ノ違反デアルト申サナケレバナラヌノデアリマス(ヒヤヒヤ)又一面カラ之ヲ見マスルナラバ、樺限ノナイ違法ノ行為デアルノミナラズ、實ニ官紀ヲ紊亂シタル所ノ不法ナ行為デアルト斷言スルコトガ出來ルノデアリマス、ヤヒヤ)又一面カラ之ヲ見マスルナラバ、政府ハ斯ル不法ナル官紀紊亂ノ行為ニ對シマシテ、果シテ如何ナル監督ヲ致サレタカ、又之ニ對シテ如何ナル指揮命令ヲ下サレタカ、政府ノ所信ヲ伺ヒタ伊豆ノガ第一段デアリマス、而シテ諸君、此樺太廳ノ官制勅令ハ其後十日間ヲ經マシテ大正十二年十二月二十五日ヲ以テ御裁可ニナリ、公布セラレテ、其翌日ヨリ施行スルコトニ相成タ次第デアリマス、此時既ニ樺太廳ニ致シマシタ、其後十日ヲ經マシテ大正十二年十二月二十五日ヲ以テ御裁可ニナリ、公布シタル時ニ於テ、十二月二十五日ヨリ施行スルト云フコトガ豫メ決定シテ居ルコト正誤ヲ致シテ居リマス、諸君、樺太廳長官ニ於テハ勅令、訓令、告示ト云フモノヲバ既ニ施行ヲ致シテ居ルノデアル、即チ勅令發布以前ニ於キマシテ無權限ナル樺太廳ニ於キマシテハ、既ニ之ヲパ實行シ終ラテ居ル

必要ナル事ハ申ヌマデモアリマセヌ、即チノデアル、幸ニシテ是ガ官廳ノ改廢、其他人民ノ管轄ノ權限等ニ屬スル問題デアリマシタカラ、非常ナル不幸ヲ招カズシテ済ムコトガ出來マシタケレドモ、萬一是ガ國民ス、斯ノ如キ事デアリマスカラ致シマシテ、私ハ政府ニ御伺シタイノハ、關稅政策ニ付テノ御意見ト、金利ニ付テノ御意見ニ付キマシテ御伺致シタインデアリマス
○議長(柏谷義三君) 藏園三四郎君
樺太廳ノ綱紀肅正ニ關スル質問ノ答辯ニ對スル藏園三四郎君ノ意見
(藏園三四郎君登壇)
「藏園三四郎君、私ノ問ハント欲スル所ハ、極メテ事實ハ簡単デゴザイマスルケレドモ、其影響スル所ハ極メテ重大ナルモノデゴザイマス、曩ニ樺太長官ノ綱紀紊亂ノ事實ニ付キマシテ、私ヨリ質問ヲ提出致シテ置キマシタ所、總理大臣ヨリ致シマシテ、想フニ此點ハ昨年ノ十二月ノ官制ニ關スルコトデアラウ、ソレナラバ不可抗力ニスルコトハ出來マセヌ、的ヲ外シタル御答辯デアルノデアリマスカラ致シマシテ、昌谷彰氏ハ大正十三年ノ十二月十五日ニ、其樺太廳ノ公布式ヲ以チマシテ、本員ハ之ニ對シテ決シテ満足ヲスル號外六件、訓令第五十五號外十一件、告示第三百九號外三件ト云フ、實ニ二十有三件ノ法規ヲ發布致シテ居ルノデアリマス、此發布ニ依リマシテ、即チ同日ヨリ此法規ヲ施行スルモノデアルカト申シマスレバ、即チ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイハラス、當然金利ハ下ガルト云フヤウナラバ、當然金利ハ引下ラナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ又今日ノ財政界ヲ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイデモ、自然ト金利ハ下ガルト云フヤウナコトヲ言シテ居ル者ガアリマスガ、是モ私ハ間違タ議論デアラウト思ヒマス、自然ノ趨勢ニ依ッテ下ガリマシタ所ノモノハ、決シテ物價ヲ下グル底ノ金利ノ引下デハナインデアリマス、今一錢四五厘マデ下リマシタナラバ、是レ以上ニ一つノ政策ト致シマシテ四五厘デモ引下ダナカツタナラバ、物價ノ引下ハ出來ナイト思フノデアリマス、斯ノ如キ勇氣ガナケレバ到底物價ハ下ラナイデアリマス、農村ノ振興、輸入超過ノ防遏

ト云フコトハ關稅政策ヨリ外ニナイト思フ此二十三件ト云フ多數ノ法規ハ、其改廢ニ基ク所ノ必要ナル事項ヲ規定シタ所ノ施行法デゴザイマス、施行ニ屬スル所ノ法規デアルノデアリマス、諸君、申スマデモナクス、斯ノ如キ事デアリマスカラ致シマシテ、私ハ政府ニ御伺シタイノハ、關稅政策ニ付テノ御意見ト、金利ニ付テノ御意見ニ付キマシテ御伺致シタインデアリマス
○議長(柏谷義三君) 藏園三四郎君
樺太廳ノ綱紀肅正ニ關スル質問ノ答辯ニ對スル藏園三四郎君ノ意見
(藏園三四郎君登壇)
「藏園三四郎君、私ノ問ハント欲スル所ハ、極メテ事實ハ簡単デゴザイマスルケレドモ、其影響スル所ハ極メテ重大ナルモノデゴザイマス、曩ニ樺太長官ノ綱紀紊亂ノ事實ニ付キマシテ、私ヨリ質問ヲ提出致シテ置キマシタ所、總理大臣ヨリ致シマシテ、想フニ此點ハ昨年ノ十二月ノ官制ニ關スルコトデアラウ、ソレナラバ不可抗力ニスルコトハ出來マセヌ、的ヲ外シタル御答辯デアルノデアリマスカラ致シマシテ、昌谷彰氏ハ大正十三年ノ十二月十五日ニ、其樺太廳ノ公布式ヲ以チマシテ、本員ハ之ニ對シテ決シテ満足ヲスル號外六件、訓令第五十五號外十一件、告示第三百九號外三件ト云フ、實ニ二十有三件ノ法規ヲ發布致シテ居ルノデアリマス、此發布ニ依リマシテ、即チ同日ヨリ此法規ヲ施行スルモノデアルカト申シマスレバ、即チ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイハラス、當然金利ハ下ガルト云フヤウナラバ、當然金利ハ引下ラナケレバナラスト思フノデアリマス、然ルニ又今日ノ財政界ヲ見マシタナラバ、金利ハ故ラニ下ダナイデモ、自然ト金利ハ下ガルト云フヤウナコトヲ言シテ居ル者ガアリマスガ、是モ私ハ間違タ議論デアラウト思ヒマス、自然ノ趨勢ニ依ッテ下ガリマシタ所ノモノハ、決シテ物價ヲ下グル底ノ金利ノ引下デハナインデアリマス、今一錢四五厘マデ下リマシタナラバ、是レ以上ニ一つノ政策ト致シマシテ四五厘デモ引下ダナカツタナラバ、物價ノ引下ハ出來ナイト思フノデアリマス、斯ノ如キ勇氣ガナケレバ到底物價ハ下ラナイデアリマス、農村ノ振興、輸入超過ノ防遏

最初十一月十五日ニ發布シタル所ノ此法規

ト云フモノハ抑、無權限ノ行爲デアリテ、大權ヲ犯シタル行爲デ無法、即チ法律上是ハ

無效アルノデアル、無效ナルモノヲ再ビ

之ヲ訂正シテモ無效ヨリ有效ハ生ゼヌ、無

ハ有ヲ生ジナイ、瓦ハ二枚重ネテモ一枚重

ネテモ矢張瓦デアル、依然トシテ是ハ無效

デアルノデアル、斯ノ如ク無法ナル、而モ

無效ナル訂正ヲ致シマシタル其結果ニ付テ

之ヲ眺メテ見タインデアリマス、ドウナリ

マスカ、十二月ノ二十五日ヨリ此樺太廳官

制改正ノ勅令ト云フモノハ、二十五日ヨリ

即時施行ノ公布ガアルニモ拘ラズ、全ク此

公布ニ關スル所ノ——施行ニ關スル所ノ奉

公ノ事實ガ何等ナインデアル、故ニ今日ニ

至シテモ此十二月二十五日ヨリ改正シナケ

レバナラヌ所ノ此官制ハ、未ダ是ガ實行ヲ

果サヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、

然ルニモ拘ラズ樺太廳ノ官廳ノ支廳ニ箇所

ヲ改正致シテ、而シテ新ニ出張所ヲ一箇所

ヲハ設ケテ、サウシテ之ニ關スル所ノ豫算

ヲ計上致シテ居ルト云フコトニ考ヘて見マ

スルナラバ、此法案ガ如何ニ重大デアルカ

ト云フコトモ私ハ斷言スルコトガ出來ルデ

アラウト思ヒマス(ヒヤー)抑、此官廳ニ

於ケル所ノ發令權ト云フモノハ、其官廳ノ

實ニ生命トモ申スベキ所ノ職務權限ニ屬シ

テ居ルノデアリマス、然ルニ此大事ナ所ノ職務權限ニ屬スル所ノ法規發令權ニ對シテ、斯ノ如ク等閑ニ取扱ヒ、斯ノ如ク粗末ニ取扱フト云フコトニ至リマシテハ、實ニ官憲ノ威信ヲ損スルノミナラズ、世人ヲシテ法ノ神聖ヲ疑ハシメ、法ノ價值ヲ疑ハシムル所ノ非常ナル罪惡デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニレタカ、此事モ政府ハ不可抗力デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニ私ノ御尋ヲ致シタイ事ハ、此事ハ内閣直屬ノ樺太廳官憲ノ非違ニ關スル事デアタガ、一言内閣直接ノ責任ニ付テ一應伺ヒタイト思

ニアリマス、前段申上ダマスル通りニ、樺

太長官ハ此御裁可前、既二十日前ニ於テ目

下樞密院ニ於キマシテ御諮詢中デアル所ノ

無効シタルモノノ御諮詢中デアル所ノ

之ヲ訂正シテモ無効ヨリ有效ハ生ゼヌ、無

ハ有ヲ生ジナイ、瓦ハ二枚重ネテモ一枚重

ネテモ矢張瓦デアル、依然トシテ是ハ無效

デアルノデアル、斯ノ如ク無法ナル、而モ

無効ナル訂正ヲ致シマシタル其結果ニ付テ

之ヲ眺メテ見タインデアリマス、ドウナリ

マスカ、十二月ノ二十五日ヨリ此樺太廳官

制改正ノ勅令ト云フモノハ、二十五日ヨリ

即時施行ノ公布ガアルニモ拘ラズ、全ク此

公布ニ關スル所ノ——施行ニ關スル所ノ奉

公ノ事實ガ何等ナインデアル、故ニ今日ニ

至シテモ此十二月二十五日ヨリ改正シナケ

レバナラヌ所ノ此官制ハ、未ダ是ガ實行ヲ

果サヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、

然ルニモ拘ラズ樺太廳ノ官廳ノ支廳ニ箇所

ヲ改正致シテ、而シテ新ニ出張所ヲ一箇所

ヲハ設ケテ、サウシテ之ニ關スル所ノ豫算

ヲ計上致シテ居ルト云フコトニ考ヘて見マ

スルナラバ、此法案ガ如何ニ重大デアルカ

ト云フコトモ私ハ斷言スルコトガ出來ルデ

アラウト思ヒマス(ヒヤー)抑、此官廳ニ

於ケル所ノ發令權ト云フモノハ、其官廳ノ

實ニ生命トモ申スベキ所ノ職務權限ニ屬シ

テ居ルノデアリマス、然ルニ此大事ナ所ノ職務權限ニ屬スル所ノ法規發令權ニ對シテ、斯ノ如ク等閑ニ取扱ヒ、斯ノ如ク粗末ニ取扱フト云フコトニ至リマシテハ、實ニ官憲ノ威信ヲ損スルノミナラズ、世人ヲシテ法ノ神聖ヲ疑ハシメ、法ノ價值ヲ疑ハシムル所ノ非常ナル罪惡デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニレタカ、此事モ政府ハ不可抗力デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニ私ノ御尋ヲ致シタイ事ハ、此事ハ内閣直屬ノ樺太廳官憲ノ非違ニ關スル事デアタガ、一言内閣直接ノ責任ニ付テ一應伺ヒタイト思

ニアリマス、前段申上ダマスル通りニ、樺

太長官ハ此御裁可前、既二十日前ニ於テ目

下樞密院ニ於キマシテ御諮詢中デアル所ノ

之ヲ訂正シテモ無効ヨリ有效ハ生ゼヌ、無

ハ有ヲ生ジナイ、瓦ハ二枚重ネテモ一枚重

ネテモ矢張瓦デアル、依然トシテ是ハ無效

デアルノデアル、斯ノ如ク無法ナル、而モ

無効ナル訂正ヲ致シマシタル其結果ニ付テ

之ヲ眺メテ見タインデアリマス、ドウナリ

マスカ、十二月ノ二十五日ヨリ此樺太廳官

制改正ノ勅令ト云フモノハ、二十五日ヨリ

即時施行ノ公布ガアルニモ拘ラズ、全ク此

公布ニ關スル所ノ——施行ニ關スル所ノ奉

公ノ事實ガ何等ナインデアル、故ニ今日ニ

至シテモ此十二月二十五日ヨリ改正シナケ

レバナラヌ所ノ此官制ハ、未ダ是ガ實行ヲ

果サヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、

然ルニモ拘ラズ樺太廳ノ官廳ノ支廳ニ箇所

ヲ改正致シテ、而シテ新ニ出張所ヲ一箇所

ヲハ設ケテ、サウシテ之ニ關スル所ノ豫算

ヲ計上致シテ居ルト云フコトニ考ヘて見マ

スルナラバ、此法案ガ如何ニ重大デアルカ

ト云フコトモ私ハ斷言スルコトガ出來ルデ

アラウト思ヒマス(ヒヤー)抑、此官廳ニ

於ケル所ノ發令權ト云フモノハ、其官廳ノ

實ニ生命トモ申スベキ所ノ職務權限ニ屬シ

テ居ルノデアリマス、然ルニ此大事ナ所ノ職務權限ニ屬スル所ノ法規發令權ニ對シテ、斯ノ如ク等閑ニ取扱ヒ、斯ノ如ク粗末ニ取扱フト云フコトニ至リマシテハ、實ニ官憲ノ威信ヲ損スルノミナラズ、世人ヲシテ法ノ神聖ヲ疑ハシメ、法ノ價值ヲ疑ハシムル所ノ非常ナル罪惡デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニレタカ、此事モ政府ハ不可抗力デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニ私ノ御尋ヲ致シタイ事ハ、此事ハ内閣直屬ノ樺太廳官憲ノ非違ニ關スル事デアタガ、一言内閣直接ノ責任ニ付テ一應伺ヒタイト思

ニアリマス、前段申上ダマスル通りニ、樺

太長官ハ此御裁可前、既二十日前ニ於テ目

下樞密院ニ於キマシテ御諮詢中デアル所ノ

之ヲ訂正シテモ無効ヨリ有效ハ生ゼヌ、無

ハ有ヲ生ジナイ、瓦ハ二枚重ネテモ一枚重

ネテモ矢張瓦デアル、依然トシテ是ハ無效

デアルノデアル、斯ノ如ク無法ナル、而モ

無効ナル訂正ヲ致シマシタル其結果ニ付テ

之ヲ眺メテ見タインデアリマス、ドウナリ

マスカ、十二月ノ二十五日ヨリ此樺太廳官

制改正ノ勅令ト云フモノハ、二十五日ヨリ

即時施行ノ公布ガアルニモ拘ラズ、全ク此

公布ニ關スル所ノ——施行ニ關スル所ノ奉

公ノ事實ガ何等ナインデアル、故ニ今日ニ

至シテモ此十二月二十五日ヨリ改正シナケ

レバナラヌ所ノ此官制ハ、未ダ是ガ實行ヲ

果サヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、

然ルニモ拘ラズ樺太廳ノ官廳ノ支廳ニ箇所

ヲ改正致シテ、而シテ新ニ出張所ヲ一箇所

ヲハ設ケテ、サウシテ之ニ關スル所ノ豫算

ヲ計上致シテ居ルト云フコトニ考ヘて見マ

スルナラバ、此法案ガ如何ニ重大デアルカ

ト云フコトモ私ハ斷言スルコトガ出來ルデ

アラウト思ヒマス(ヒヤー)抑、此官廳ニ

於ケル所ノ發令權ト云フモノハ、其官廳ノ

實ニ生命トモ申スベキ所ノ職務權限ニ屬シ

テ居ルノデアリマス、然ルニ此大事ナ所ノ職務權限ニ屬スル所ノ法規發令權ニ對シテ、斯ノ如ク等閑ニ取扱ヒ、斯ノ如ク粗末ニ取扱フト云フコトニ至リマシテハ、實ニ官憲ノ威信ヲ損スルノミナラズ、世人ヲシテ法ノ神聖ヲ疑ハシメ、法ノ價值ヲ疑ハシムル所ノ非常ナル罪惡デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニレタカ、此事モ政府ハ不可抗力デアルト言ハル、ノデアルカ、之ヲシテモ尙ホ不可抗力デアルト言フナラバ、天下何物カ不可抗力ニアラザルモノハナインデアリマス、次ニ私ノ御尋ヲ致シタイ事ハ、此事ハ内閣直屬ノ樺太廳官憲ノ非違ニ關スル事デアタガ、一言内閣直接ノ責任ニ付テ一應伺ヒタイト思

ニアリマス、前段申上ダマスル通りニ、樺

太長官ハ此御裁可前、既二十日前ニ於テ目

下樞密院ニ於キマシテ御諮詢中デアル所ノ

之ヲ訂正シテモ無効ヨリ有效ハ生ゼヌ、無

ハ有ヲ生ジナイ、瓦ハ二枚重ネテモ一枚重

ネテモ矢張瓦デアル、依然トシテ是ハ無效

デアルノデアル、斯ノ如ク無法ナル、而モ

無効ナル訂正ヲ致シマシタル其結果ニ付テ

之ヲ眺メテ見タインデアリマス、ドウナリ

マスカ、十二月ノ二十五日ヨリ此樺太廳官

制改正ノ勅令ト云フモノハ、二十五日ヨリ

即時施行ノ公布ガアルニモ拘ラズ、全ク此

公布ニ關スル所ノ——施行ニ關スル所ノ奉

公ノ事實ガ何等ナインデアル、故ニ今日ニ

至シテモ此十二月二十五日ヨリ改正シナケ

レバナラヌ所ノ此官制ハ、未ダ是ガ實行ヲ

果サヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、

然ルニモ拘ラズ樺太廳ノ官廳ノ支廳ニ箇所

ヲ改正致シテ、而シテ新ニ出張所ヲ一箇所

ヲハ設ケテ、サウシテ之ニ關スル所ノ豫算

ヲ計上致シテ居ルト云フコトニ考ヘて見マ

スルナラバ、此法案ガ如何ニ重大デアルカ

ト云フコトモ私ハ斷言スルコトガ出來ルデ

アラウト思ヒマス(ヒヤー)抑、此官廳ニ

於ケル所ノ發令權ト云フモノハ、其官廳ノ

實ニ生命トモ申スベキ所ノ職務權限ニ屬シ

ルニ此改正ヲ致シマシテモ、何等一般ノ有
ユル方面ニ支障ヲ生ズル事ガアリマセヌノ
デ、且ツ其改正タルヤ極メテ簡単ナモノデ

アリマシテ、複雑ナル法規ノ改正ヲ要セナ
イノデアリマス、大體斯様十次第デアリマ
シテ、今日ニ於テ是ガ改正ヲ致スコトハ最
モ適切ナ事ト考ヘマスルカラ、本案ヲ提出
致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、
滿場一致ヲ以テ御決定アランコトヲ希望致
シマス(拍手)

業會議所法中改正法律案下同一委員ニ併セ
テ付託セラレントコトヲ望ミマス
〔「異議ナシ」、「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長（粕谷義三君） 井本君ノ動議ニ御異
議ナシト認ムマス、仍テ動議ノ如ク決シマ
シタ、日程第四、清國及朝鮮國在留帝國臣民
取締法廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、
提出者柏田忠一君

第四 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締
法廢止法律案（柏田忠一君外一名提
出） 第一讀會

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法ハ之ヲ
法律案

柏田忠一著登壇

○柏田忠一君 簡單ニ本案提出ノ理由ヲ申述ベマヌ、清國竝ニ朝鮮國在留ノ帝國臣民

ヲ取締ルト云フ規定ガ明治二十九年ニ制定
ヲサレタモノデアリマスガ、當時ハ日清戦
争ノ直後デアッタガ故ニ、在留邦人中ニモ
其旨啓知ノ風氣ナシケンリ、戎(アキラ)メ

其居留地ノ雇給又其額三外ノ取引ノ額月々
素ス者ガ多カッタガ爲ニ該法律ヲ制定シタ
ノデアリマス、然ルニ其後明治三十一年ニ
至リマシテ、政府ハ更ニ領事官ノ職務ニ關

○井本常作君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマ

ニナリ、清國及朝鮮國ト云フ、其朝鮮國ガ該法律カラ滅却スルコトニナリマンタ、隨テ最早該法ヲ存在シテ置クト云フ理由ノ

シタ——次ハ日程第五鐵道敷設法中改正法
律案ノ第一讀會ヲ開キ、提出者ノ趣旨辯明
ヲ許シマス——福田五郎君
第五 鐵道敷設法中改正法律案（橋本
喜造君外五名提出） 第一讀會
鐵道敷設法中改正法律案
鐵道敷設法中左ノ通改正ス
別表百十四中「肥前山口附近」ヲ「佐賀」ニ
改ム

附 則

本法ハ大正十四年五月一日ヨリ之ヲ施行
ス

〔福田五郎君登壇〕

○福田五郎君 諸君、只今議題トナリマシ
タ改正法律案ノ提出ノ理由ヲ極ク簡単ニ申
上ゲマス、現時北九州ヲ横断致シマシテ、
門司ト長崎トヲ連接致シテ居リマス所ノ鐵
道ハ、我國ト支那トノ交通ニ於テ最モ重要
ナル交通機關デゴザイマス、今日我國ヨリ
支那ニ到リマスルノニハ、殊ニ支那東岸ノ
各港ニ到リマスニ付テハ、長崎港ヨリスル
ノヲ最モ便利ト致シマス、而シテ支那東岸
ノ諸港中、上海ハ東洋ニ於キマシテ政治上、
貿易上ニ重大且ツ樞要ナル地位ヲ有スルノ
ニアリマスガ、此上海ニ到ルニ付テモ長崎
ヨリスルノガ最モ便利デアリマス、斯ノ如
キ關係ニ在リマスカラシテ、長崎港ハ我國
ト支那トノ交通關係ニ於キマシテ、非常ナル
關門トナツテ居ルノデアリマス、加之長
崎港ハ古來有名ナル外國貿易港デアリマシ
テ、今日諸外國トノ貿易關係、交通關係ニ
於テモ重要ナル地點デアリマス、斯ル關係
ニ於キマシテ長崎港ハ啻ニ支那トノ交通機
關ニ於テ關門タルノミナラズ、世界的交通上
ニモ、外國のニモ非常ニ必要ナル線路デア
リマシテ、所謂國際幹線デアリマスルガ故
ニ、此鐵道ノ改善ト距離ノ短縮ヲ圖ラネバ
ナラヌト云フコトハ固ヨリ當然ノ事デアリ
マス、然ルニ現在敷設サレテ居リマス鐵道

ハ、佐賀市以西長崎縣諫早驛ノ間ニ於キ
マシテ非常ニ迂廻シ轡曲シテ居リマス、鐵
道當局茲ニ見ル所アリ、之ヲ不便ナリト致

ハ、佐賀市以西長崎縣諫早驛ノ間ニ於キ
マシテ非常ニ迂廻シ轡曲シテ居リマス、鐵
道當局茲ニ見ル所アリ、之ヲ不便ナリト致
シマシテ、大正十一年ノ鐵道整設法ニ依リ
マシテ新ニ改良線ヲ計畫致シマシタ、ソレ
ガ即チ肥前山口附近ヨリ長崎縣諫早驛ニ到
リマス新線デゴザイマス、此新線整設ノ結果
果長崎門司間ノ全線ニ涉リマシテ、短縮ス
ル哩數ハ十六哩デアリマス、是ハ洵ニ時代
ノ趨勢ニ適應シタル非常ニ結構ナル改良線
デアルト信ジマス、果シテ然ラバ最早是テ
十分デアルヤ、最早此線路ハ短縮改良ノ餘
地ハ無イカト申シマスルト左様デハゴザイ
マセヌ、尙ほ線路短縮ノ餘地ガアリマス、
即チ豫定ニ在ル起點山口附近ヲ變更致シマ
シテ、之ヲ佐賀市ニ持來シマシテ佐賀市
ヲ起點ニ改シマスレバ、更ニ三哩ノ短縮ガ
出來ルヤウニナリマス、其結果全線ニ涉リ
マシテ十九哩ノ短縮ヲ得ルコトニナリマ
ス、是ハ最モ必要ナ事デアリ、殊ニ國營幹
線ノ機能ヲ十分ナラシムルノデアリマシ
テ、是ガ即チ吾々ガ本案ヲ提出シタル主要
ナル理由デアリマス、次ニ附隨ノ理由ガゴ
ザイマス、ソレハ佐賀ヲ起點ト致シマスル
結果、其線路ハ自然ニ肥前ノ南方ニ位シテ
居リマス所ノ輸出入港タル、住ノ江港ヲ通
過スルコトニナリマス、住ノ江港ハ有明海
ノ北方ニ位シテ居リマスル唯一ノ輸出入港
デアリマシテ、北九州ニ於テハ重要ナル港
デゴザイマス、然ルニ此港ハ是マデ全ク鐵
道ノ恩惠ヲ蒙被ラナイ爲ニ、輸出入港タル
其機能ヲ十分ニ發揮スルコトガ出來ズニ居
リマス、尙又今回ノ豫定線ニナッテ居リマ
ス線ニ依リマスルモ、此住ノ江港ハ何等ノ
恩恵ヲ受ケズ、永久ニ鐵道ノ恩惠カラ取残
ハ尙ホ一ツ注意ヲ喚起スベキ點ガゴザイマ
サレルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、斯ノ如
キハ鐵道政策トシテ洵ニ其當ヲ得ナイト思
ヒマス、ノミナラズ住ノ江港ニ付キマシテ
云フコトデアル、而シテ其炭田ハ三池炭田
ト質ヲ同ジウシ、脈絡ヲ保テ居ルト云フ

コトデアリマス、果シテ然ラバ近キ將來ニ於キマシテ住ノ江港ハ石炭ノ大量輸出ニ依リマシテ、運輸交通ノ重要ナル線トナルト云フコトハ固ヨリ明白デアリマス、此故ニ吾々ハ今日住ノ江港ガ鐵道ノ恩惠ヲ被ラナイコトヲ非常ニ遺憾ニ思ヒマスト同時ニ、近キ將來ニ於テ非常ニ發展スベキ運命ヲ有スル此住ノ江港ヲ縫ウテ、鐵道ヲ通過シテ行クト云フ必要ヲ痛切ニ感ズルノデゴザイマス、一タビ地圖ヲ開マシテ住ノ江港附近ノ模様ヲ見マスルト、現在ノ豫定線ニ於テ、山口附近ヲ起點ニスルノガ得策デアルカト云佐賀市ヲ起點ニスルノガ得策デアルカト云フ其得失ハ、一目瞭然デゴザイマス、山口附近ヲ起點ニ致シマスレバ、線路ハ三角形ノ兩邊トナリ、汽車ハ其一邊ヲ迂回シテ走ルコトニナリマス、然ルニ佐賀市ヲ起點ニ致シマスレバ、汽車ハ三角形ノ一邊ヲ走ルト云フコトニナルノデアリマス、殊ニ又山口附近ヲ起點ト致シマスレバ、其南方鹿島町マデノ間ニ至リマス線ニ於テハ、何等貨物ノ集散ノ場所ガゴザイマセヌ、唯、茫茫タル夢ノ如キ原野ヲ汽車ガ走ルニ過ギナイノデアリマス、之ニ反シマシテ佐賀市ヲ起點ト致シマスレバ、今申上ダマシタ住ノ江港ヲ當然通過スルコトニナルノデアリマス、斯様ナ關係デアルノミナラズ、地方ノ人ノ交通ト連輸ヲ圓滑スルト云フ關係ガ地圖上一目瞭然デゴザイマス、デゴザイマスカラ何故ニ此佐賀市ヲ起點トセシテ山口附近ヲ起點トシタカニ付テハ、誰人モ直ニ疑フ捕ムノデゴザイマス、然ラバ何故ニ佐賀ヲ顧ミズシテ當時山口附近ヲ起點トシタカ、其原因ニ付テハ私ハ存ジマセヌ、鐵道敷設法ハ大正十一年デアリマシタ、其當時佐賀ヲ顧ミナカタコトニ付キマシテ、色々ノ事情モアッタト思ヒマスガ、ソレハ今日探究スル必要ハアリマセヌ、唯、其色ノ事情ト共ニ、經費が幾分増スノデアルト云フコトモ勿論デアッタラウト思フノデアリマス、而シテ吾々ノ聞ク所ニ依リマスト、其增加スル經費モ格別ノコトハナイヤウデゴザイマス、財政緊縮ノ今日吾々ハ一圓

ノ經費ノ増加ニ付テモ考慮シナケレハナリマセヌ、併ナガラ只今ノ起點ヲ豫定ノヤウ云フコトハ、僅ニ三哩デハアリマスガ、併シソレハ毎日三哩デアル、之ヲ引延バシテ致シマス、最モ迅速ヲ要スベキ國際幹線タル所ノ汽車ガ理由ナク三哩ヲ無駄ニ走ルト云フコトハ、僅ニ三哩デハアリマスガ、併シソレハ毎日三哩デアル、之ヲ引延バシテ致シマス、最モ迅速ヲ要スベキ國際幹線タル所ノ汽車ガ理由ナク三哩ヲ無駄ニ走ルト云フコトハ、僅ニ三哩デハアリマス、(質問ノ趣旨ヲ申述ニ致シマス)、斯ル際ニ於キマシテ、其時間ノ浪費、經濟上ノ損失ハ非常ニ莫大ナルモノデアルト云フコトハ明デアリマス、要スルニ今日僅ノ經費ノ増加ヲ客ミマシテ、永久ノ計畫ヲ忘レルノハ策ノ得タルモノデハナイト思ヒマス、又此住ノ江港ヲ通過致シマスレバ、輸出入港デアリマス結果、貨物ノ集散其他ニ依リ、運賃ノ增收ニ依リ、茲ニ増シタル經費ハ遠カラズ取返スコトガ出來ルト信ジマス、要スルニ本案起點變更ノ理由ト致シマスノハ、一方ニハ幹線ノ哩數ヲ短縮シ、而シテ一方ニハ輸出入港タル住ノ江港ヲ活カスト云フコトハ、該地方一部ノ利益ノミデハナク、内地全般ニ涉ル利益デアリマス、即チ鐵道ガ第一ノ目的ト致シマス所ノ公益ヲ圖ルト云フ點ニ合致スルノデアリマス、斯ル理由ニ於キマシテ此起點變更ハ一舉兩得ノ策デゴザイマス、今後日支親善ハ益加リ、諸外國トノ關係ハ益複雜トナリ、一分時間ヲ争フコトモゴザイマセウ、一秒時間ヲ争フコトモ度ニアルダラウト存ジマス、(拍手起り「何ヲ言フ」其理由ヲ述べスルト、何等一旦決定シテ居ル法律ヲバ、動カスニ足ルベキ所ノ理由ヲ私ハ少シモ拜聴シナカツタ點ニ鑑ミマスルト云フト、是ハ福田君等が佐賀市ノ一部人士ニ對シマシテノ所謂人氣取政策デモアラウカト思フノデアリマス(拍手)然ラザレバ一種ノ人騒ガセニ過ギナイ問題デアラウト考ヘルノデアリマス、(拍手起り「何ヲ言フ」其理由ヲ述べスルト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(柏谷義三君) 静肅ニ
○田口文次君(續) ソレトテモ五万噸位ノ石炭ニ致シマシテモ、最早鐵道トハ何等ノ關係ハ無イノデアリマス、所謂鐵道ニ託送スベカラザルモノガ川ヲ下ヅテ住ノ江ニ出ルノデアリマスカラ、再び之ヲ鐵道ニ託スル必要が無イカラデアリマス、又次ニ輸入物ト致シマシテハ、鐵道兩岸ニ於ケル藍刈村ヤ福富村ノ大部分ニ對シテ、農家ノ需要スル豆粕若クハ人造肥料ガ、一箇年約二三十万圓ノ價ノ物ガ輸入サレルダケデアリマシテ、其他多クノ輸入サレル物ハ無イノデアリマス、是ハ輸入スルト同時ニ直ニ農家ノ手ニ依リ、馬ノ脊、若クハ荷車等ニ依テソレ(各需要者ニ引取ラレルノデアリマスカラ、鐵道トハ何等輸入ニ付テノ關係ハ無イノデアリマス、斯ノ如キ狀態デアリマシテ、五六年前ニ於テハ長崎稅關ノ出張所モ、或ハ廢止セラレルデハナカラ

ガ見遁スト云フコトハ、鐵道政策トシテ決シテ策ノ得タルモノデナインミナラズ、恐シテモ、本案起點ノ變更ハ國家百年ノ大計クハ後世ニ嗤ヲ貽スコト大ナルモノデハナカラウカト云フコトヲ吾々ハ憂フルノデゴザイマス、即チ吾々ハ如何ナル點カラ見マシテモ、本案起點ノ變更ハ國家百年ノ大計ナリト確信致シマス、斯ル際ニ於キマシテ本案ヲ提出致シマシタ、何卒皆様ノ御賛成ヲ得マシテ、無事通過スルヤウ御取計ヲ願ヒマス(拍手)
○議長(柏谷義三君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、順次其發言ヲ許シマス、田口文次君
○田口文次君(續) 住ノ江ノ生命ト致シテ居リマス、此平坦線ノ起點變更ノ理由ト致シマスノハ、一方ニハ幹線ノ哩數ヲ短縮シ、而シテ一方ニハ輸出入港タル住ノ江港ヲ活カスト云フコトハ、該地方一部ノ利益ノミデハナク、内地全般ニ涉ル利益デアリマス所ノ杵島炭坑及朝鮮銀行ノ施設ニナツテ居リマス所ノ佐賀炭坑、此ニツノモノガ一一番關係アル炭坑デアリマス、併ナガラ杵島炭坑ハ北八幡ノ驛デ、佐賀炭坑ハ大町ニテ、其出炭ノ大部分ハ之ヲ鐵道ニ託送シテ居ルモノデゴザイマスカラ、殘ル所ノ一小部分ハ凡ソ一箇年ニ致シマスルト、五万噸内外ノ石炭ガ六角川ヲ上荷船ニテ下ヅテ参リマシテ、始メテ、住ノ江ニ輸出サレルノデアリマスガ(「脱線タタ」無駄口ヲ止メロ)ト呼ヒ其他の發言スル者多シ)
○議長(柏谷義三君) 静肅ニ
○田口文次君(續) ソレトテモ五万噸位ノ石炭ニ致シマシテモ、最早鐵道トハ何等ノ關係ハ無イノデアリマス、所謂鐵道ニ託送スベカラザルモノガ川ヲ下ヅテ住ノ江ニ出ルノデアリマスカラ、再び之ヲ鐵道ニ託スル必要が無イカラデアリマス、又次ニ輸入物ト致シマシテハ、鐵道兩岸ニ於ケル藍刈村ヤ福富村ノ大部分ニ對シテ、農家ノ需要スル豆粕若クハ人造肥料ガ、一箇年約二三十万圓ノ價ノ物ガ輸入サレルダケデアリマシテ、其他多クノ輸入サレル物ハ無イノデアリマス、是ハ輸入スルト同時ニ直ニ農家ノ手ニ依リ、馬ノ脊、若クハ荷車等ニ依テソレ(各需要者ニ引取ラレルノデアリマスカラ、鐵道トハ何等輸入ニ付テノ關係ハ無イノデアリマス、斯ノ如キ狀態デアリマシテ、五六年前ニ於テハ長崎稅關ノ出張所モ、或ハ廢止セラレルデハナカラ

ウカト云フヤウナ噂モ立ッタ位デゴザイマ
スルガ、大木伯爵ノ鐵相時代ニ於キマシ
テ、蘆刈村ノ一部ノ人士ニ依テ頻ニ住ノ
江港ノ價值アルコトヲ大袈某ニ吹聴セラレ
タコトガアリマス、世人ハ之ヲ以テ何故ニ
スル吹聴ガ盛ニ行ハレルデアラウカト云フ
コトヲ奇怪ニ感ジテ居ツタ位デアリマシタ
ガ、只今其起點變更ノ理由及海陸連絡ノ必
要上ヨリ致シマシテ、恰モ住ノ江港ガ重大
ナル意義アル如ク、福田君ハ申サレマシタ
ケレドモ、事情ハ斯クノ通リデアリマス、
何等鐵道ト連絡ヲ取リマシテモ、利害關係
ヲ生ジナイ住ノ江港デアリマスカラ、之ヲ
ガ出来ナイヤウナ狀態デアルノデアリマス
(括手)、福田君ハ幼少ヨリ修學ノ爲ニ郷里
ヲ出デラレマシテ、近頃デハ神戸方面デ
連送業ヲ經營シ居ラレルヤウニ聞及ンデ
居リマスガ、住ノ江港ノ狀態等ハドウシテ
御承知デアリマセウカ、住ノ江ガドノ方
面ニ在ルカ、地理方角モ分ラズシテ無鐵砲
ニ之ヲ吹聴セラレルト云フコトハ誰カニ教
證材料ヲ私ハ御元シテ願ヒタイノデアル、
此平坦線ノ分歧點ヲバ、肥前山口ト既ニ法
律デ決定セラレテ居リマスモノハ、大ニ理
由アルコトデアルト私ハ思惟シテ居ルノデ
アリマス、第一平坦線敷設ニ付テノ最捷經
路デアリ、且ツ古來ヨリノ順路デアルノデ
ゴザイマス、鍋島侯爵ナドガ幕府ノ命ニ依
レテ居ツタ由緒アル道路デアルノデアリマ
ス、之ヲ佐賀市ニ變更致シマシタラバ、
延長ニ於テ七哩餘一一七哩半位ノ敷設哩數
ヲ増スサウデアリマス、其上ニ從來ノ鐵道

ト、其間隔ニ於キマシテ僅カ一里内外シカ
距リヲ有チマセヌ所ノ南ノ方ニ今一ツノ鐵
道ヲ引張ラウト云フノデアリマスカラ、建設
費ニ於テモ少カラズ増加ヲ要スルデアラウ
ト私ハ存ズルノデアリマス、又彼ノ方面ハ
有名ナル有明海ノ潟地ヲ干拓埋立等ヲ致シ
タ所ノ場所デゴザイマスルガ爲ニ、地盤極
メテ軟弱デゴザイマスル、是レ故ニ是等ニ
鐵道ヲ敷設スルト云フコトハ、到底不可能
ノコトデハナカラウカト云フ噂モアル位ノ
方面ニ向シテ、之ヲ架ケヤウト云フコトハ、
及ビ其上ニ鹿島ニ一ツ橋梁ヲ餘計架ケナケ
レバナラヌ、ソレカラ又濁流滔々タル住ノ江
ニ地盤軟弱ナル場所ニ於キマシテ、一大鐵
橋ヲ又架ケナケレバナラヌト云フコトニナ
ルノデアリマスルカラ、此經費ノ差額ヲノ
ミ申シマシテモ、凡ソ三百万圓位ハ肥前山
口ヲ分岐點ト致シマスト、佐賀市ヲ起點ト
致シマスマストデハ、差額ガ生ズルト云フコト
ハ素人計算デハゴザリマスルケレドモ、私
共ナンゾガ承知シテ居ルノデアリマス
「ソンナ事ハ縣會デヤレ」ト呼ヒ發言
スル者多シ

ス、二度目ニハ實業同志會ニ入ラレタノデ
アリマス、今度ハ三轉シテ憲政會ニ入黨シ
テマデモ、斯ル一小部分ノ爲ニ努力サルル
ト云フコトハ「何ガ質問ダ」「ソレガ質問カ」
ト呼フ者アリ質問ヲ致シテ居リマス——
只今質問ヲシテ居ルノデゴザイマス、ト云
フコトハ斯カル一小部分ノ利益ノ爲ニ斯ク
マデ努力サル、ト云フコトハ、苟モ一國ノ
選良タル資格ヲ下落セシムルモノデナカラ
ウカト云フ噂ガアルノデアリマス(拍手)兔
ニ角ト致シマシテ、三百万圓近クノ増加經
費ヲ要シマスル所ハ、何レノ方面ヨリ之ヲ
捻出セラルルカト云フコトヲ御尋申上ゲタ
イト思フノデアリマス、第三ニハ門司長崎
ノ間ニ於キマシテ三哩短縮スルト云フ御詔
デゴザイマスガ、私ノ調査シタ所ニ依リマ
スルト、二哩以内シカ短縮シナイト云フコ
トデアリマス、長崎及門司ノ間ニ於テ、凡
二百哩ノ内デ一哩半ヤ二哩位ノ短縮デハ何
等ノ效用モ爲スモノデゴザイマセヌ、要點
ハ物資ノ集散、產業ノ開發、交通ノ便否等
ニ於キマシテ、大ニ考慮スベキ必要ガアル
ノデアリマス、又殊ニ其工事費ノ多寡ト云
フコトヲ重ク考ヘテ居ラナケレバナラヌニ
モ拘ラズ、唯、ソレ等ノ點ニハ少シモ考慮ヲ
拂ハレズシテ、此國家財政ノ危急ニ際シ
テ、僅ニ二哩以内ヲ短縮シマシタカラト
言フテ、何等ノ用ヲ爲スモノデゴザイマセ
ウカ、是等ノ點ヲモ併セテ御答辯ヲ御願ヒ
致シタイト思フノデアリマス、次ニハ若槻
内務大臣ニ私ハ御尋ト申上ダタイ……
○議長(柏谷義三君) 田口君ニ御注意シマ
ス、内務大臣ハ只今御出席シテ居ラレマセ
ヌ、又出席ハムツカシイト思ヒマスガ、ソ
レデモ宜シウゴザイマスカ

マシテ、市會議員其ノ有志家ヲ招集シ、而シテ此平坦線起點ソ變更問題ニ付テハ自分ハ一種動カスベカラザル所ノ確信ヲ持テ居ル者デアル、必ズ此起點ヲ佐賀市ニ變更スルコトガ出來ルト云フ積リヲ持テ居ルカラ、諸君モ一ツ奮發ヲシテハドウデアラウカト云フヤウナ協議會ヲ開イタコトガアルノデアル、恰モ其口吻ヨリ見マスルト云フト、自分ガ鐵道大臣デモ兼務シテ居ルヤウナ權幕ヲ以テ、市會ニ臨ンデ答辯ヲシタノデアル、サウシテ一月早々上京ヲシマシテ、今ニ東京ニ滯在ヲシテ居ルサウデアリマスルガ、其入費ノ如キモ少カラザル經費ヲ要シテ居ルモノニアラウト考ヘマス、ヨモヤ彼ノ市長ガ自腹ヲ切シテ居ルモノトハ私ハ思テ居ナイ、綱紀肅正ヲ以テ一大政綱ナリトシテ居ラレマスル所ノ…「何ノ質問ダ」「降リロ」ト呼フ者アリ面白半分ニ、想ミ半分ニ一箇月ニ亘テ市政ヲ拋擲シテ、市ノ事務ヲ拋擲シテ、斯様ナ運動ニ浮身ヲ寧シ、慰ミ半分ニ東京ニ滯在シテ居リマスト云フコトハ、綱紀肅正ヲ唯一ノ看板トシテ居ラル、所ノ現内閣ニ於ケル若デアリマス、次ニ――次ニ――「次ニ何ダ」ト呼フ者アリ」次ニ加藤總理大臣ニ御尋ね申上ゲタイ、本問題ニ付キマシテハ多額ノ經費ヲ更ニ要スルコトハ、修正後ニ於キマシテモ地盤ノ關係其他等ヨリ致シマシテ、維持費ニ少カラザル増加経費ヲ要スルコトトハ、明白ナル事實デゴザリマスルガ、此財政緊縮ノ最中ニ於キマシテ、如何ニ總理大臣ハ之ヲ處理セラレルデアラウカ、又佐賀市ノ運動ヤ請託ニ依テ、一旦決定セラレガ萬一二デモアリマシタナラバ、國民ハ法律ナルモノハ何等ノ價値無キモノデアルト

ノ感ジヲ起スデアラウ、或ハ時ノ政情如何ニ依シテ、朝夕變更シ得ルモノトノ感ジヲ斯様ニシテ朝夕法律が變更セラル、モノデアリマシタナラバ、其弊害ハ遂ニ底止スル所ヲ知ラザルコトニ至ルノデアラウ、法律點ヨリ申シマシテモ、綱紀肅正ト云フ點ヨリ確定ト云フモノハ何ノ義デアルト云フコトガ分ラナクナツテシマフノデアラウト云フコトヲ憂フルノデアリマス、所謂財政ノ居ル問題ニ付テ如何ニ考ヘラレルデアラウカ、斯カルコトガ此議場デ認容セラレルヤウナコトニナリマシタナラバ、現内閣ノ一枚看板トシテ居ラレル所ノ綱紀肅正、財政緊縮ノ八文字ハ、必ズヤ面ヲ蔽ウテ泣ケデアラウト私ハ思フノデアリマス、此點ニ於テ加藤總理大臣ハ此問題ヲ如何ニ御取扱ヒニナルモノデアラウカト云フコトヲ御尋ヌルノデアリマス、之ヲ以テ私ハ質問ヲ打切リマシテ演壇ヲ降ルコトニ致シマス

此點ニ付キマシテハ、曩ニ詳細ニ論及シタニ考ヘマシタラ非常ノ國家的ノ損デアル、ニリデゴザイマス、之ヲ長ク引延シテ永久若シ之ガ諸君ニ分ラヌナラバ、諸君ハ數學的觀念ガ薄イノデアル、ゴザイマスカラシテ二哩ト言ハウガ、三哩ト言ハウガ、曩ニ申シマシタヤウニ、私ハ一哩デモ宜シイ、一哩半デモ短縮スレバ結構デアリマス、二哩デアルカラ良クナイト云フノハ何等理由ニナラナイ、次ニ又（經費ハドウスル）ト呼フ者アリ）追々説明ヲ致シマス、次ニ住ノ江港ノ附近ノ炭田ニ付テ言ハレタガ、私は是ハ何トモ申シテ居リマセヌ、將來起ベキ炭坑ニ付テ申シテ居リマス、何モ今現在シテ居ル杵島炭坑及其他ノ炭坑ヲ起點變更ノ理由ニシタノデモアリマセヌ、是ハ田口君ノ聽達ヒデアラウト思ヒマス、將來起ルベキ炭坑變更ノ理由ヲ提ゲテ來タノデアリマス、殊ニ此住ノ江港ヲ田口君ハ第一ノ理由ニシタヤウニ言ハレマシタガ、ソレハ間違テ居ル、最初ニ断テ置キマシタヤウニ、是ハ私ノ附隨ノ理由デアル、第二ノ理由由デアル、斯ウ云フ理由ハ實ハナクテモ宜イノデアリマス、次ニ此財源ハ何處カラ持テ來ルカト云フコトデアリマシタ、是ハ私トシテハ頗ル理由ニ乏シキ質問ト思フ、是ハ追加豫算モ出來マセウシ場合ニ依テハ今年ハ着手スル必要モナシ、次年ニ廻シテモ宜イノデゴザイマス、所デ私ハ田口君ニアベコベニ反問シタノデアル、一體本黨ハ何ト言ダタ、此間ノ決議案デハ何ト言ハレタ、鐵道ノ既定計畫ヲ遂行セヨト言テトハ問題ニナラヌ、（拍手）尙ホ又次ニ云テ置キマス、是ハ本案ニ關スル質問デハナル筈デアル、然ラ、田口君ハ斯様ナ些細ナ問題ヲ捉ヘテ、財源ヲドウスルナドト云フコレタ者アリ）モウ少シヤ、私ノ提案ノ理由

ヲ聽キマシテ理由ノ空疎ナル笑フニ堪ヘナ
イト云フ御批評ヲ受ケマシタ、寔ニ有難
イ、私ハ田口君ノ質問ヲ聽いて其内容ノ空
疎ナルニ茫然自失シタノデアル、而シテ私
ガ憲政會ニ這入フタコトニ付テ質問ガアリ
マシタ、併シ斯様ナ事ハ此壇上ニ於テ言フ
ベキモノデナイ、苟モ私ハ一個ノ政治家デ
アル、政治家ノ進退ハ公正大デナケレバ
ナラヌノデアル、（拍手）自分ハ自分ハ行ク
ベキ道ヲ行ク、之ニ付テ田口君、僕ニ聽キ
タケレバ此處ニ於テマナク願クハ私ノ自宅
ニ來テ戴キタイノデアル、懇切ニ御話致シ
マス、（拍手）要スルニデス田口君ノ爲ニ
惜ムノハ、私ハ田口君カラ政友本黨中ノ年
長者トシテ、モウ少し真摯ナ直面日ヲ議論
ヲ此壇上ニ於テ——堂々タル帝國議會ニ於
テモウ少シ眞面目ナ議論ヲ聽クコト、思
テ居リマシタニ拘ラズ、市長ガ何デアルマ
カ、福田代議士ガ地理ヲ知ラストカ、何ト
カ云フヤウナコトヲ言ハレタノハ、田口君
ノ爲ニ非常ニ惜ムノデアル、モウ少し慎重
ナル質問ヲシテ戴キタイト思フノデアリマ
ス、是デ質問ニ對ベル答辯ト致シマス
○議長（柏谷義三君）他ニ質疑ノ通告ハ取
消サレマシタ、他ニ質疑ノ通告ハアリマセ
シマス

路ニハ著手スルコトニ決マッテ居ルノデアリマス、既ニ衆議院ニ於テハ豫算ノ決議ニナツテ居ルモノハ議員ヨリ提案サレタノデアル、政府ガ之ヲ變ヘヤウト云フノデハアリマセヌ、議員ノ提案デアル以上ハ、議員ノ權能ニ依テ議員ノ提案サル、モノニ對シテハ、政府ハ之ニ對シテ如何トモスルコトガ出來ナイノデアリマス

○井本常作君 本案ハ議長指名、特二十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(柏谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○作間耕逸君 議事日程變更ニ關スル堅翁等動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出、輸出組合法案、同ジク政府提出、重要輸出品工業組合法案ヲ此際特ニ上程シテ一括議題ト希望ミマス

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、即チ桂ニ輸出組合法案、重要輸出品工業組合法案ノ兩案ヲ一括シテ、其第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長高木益太郎君

輸出組合法案ノ續(政府提出)

報告書 第一讀會ノ續(委員長報告)

一輸出組合法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十四年二月十七日

輸出組合法案委員長
高木 益太郎

テモ、之ヲ農商務省ノ所管トシテ海外ノ適當ナ地ニ更ニ其市場ノ擴張ノ爲ニ、開拓ノ爲ニ、必要ナル施設ヲ施シテ貲ヒタイト云フコトヲ希望ニ堪ヘナインデアリマス、斯ノ如キ意味ヲ以チマシテ、吾々ハ本案ニ贊成スルノデアリマスケレドモ、此案ヲ施行シテ行クニ付キマシテハ、札製濫造ヲ防ギ價格ヲ低廉ナラシメルト共ニ、金融ヲ圓滑ニシテ、サウシテ海外ノ市場ニ向テ日本製品ノ擴張ヲシテ、商品ノ輸出ヲ盛ニシテ貿易ヲ振興セシムルニ付テ必要ナル商務官ニシテ、ノ如キ制度ヲ擴張シテ行カナケレバ、此案ノ目的ヲ達スル譯ニ行カヌト思フノデアリマスカラ、政府ニ於テ此事ヲ適當ニ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ委員會ニ於キマシテハ、全員一致ノ意見ト致シマシテ、御賛成ガアノタノデアリマシテ、政府ニ於テモ別ニサウ云フコトハ認メテ居ルノデアルカラト云フ御考ノヤウデアリマスケレドモ、吾々ハ此案ヲ認メルニ當リマシテ、特ニ本員ノ意見トシテ此事ヲ申上ダテ置クノデアリマス(拍手)

ノ一策ト致シマシテ、兩法案ヲ御提案ニナッタト云フコトハ、其内容ハ兎ニ角ト致シマシテ、何トカシテ輸出ヲ振興セシメテ、國民ノ期待ニ副ハウトセラレタル所ノ御努力ニ對シテハ、私共ハ相當ノ敬意ヲ表スルト共ニ、又兩法案ノ趣意ニ對シテハ贊意ヲ表スル者デアリマス、併ナカラ此兩法案ノ内容ヲ詳細ニ討議研究致シマスルト云フト、餘リニ其内容ノ貧弱デアリ、不徹底デアルト云フコトニ付テ、私ハ甚ダ失望ヲ喫シタノデアリマス、諸君、今ヤ我ガ内外ノ情勢ハ更始一新ヲ要スルノ際デアリマス（ヒヤヒヤ）溢ニ空虚ナル所ノ政治ニ墮シマシテ、國民生活ヲ基調トスル所ノ政治ニ重キヲ置カヌト云フコトハ、甚ダ遺憾ナル點デアリマス、申スマデモナク一國ノ政治ト云フモノハ、道義ヲ離レテ政治ナキ如ク、經濟ヲ離レテ又政治ハナイノデアリマス、而モ今ヤ我ガ經濟的困難ニ直面致シマシテ、國家ノ盛衰ニ甚大ノ影響ノアリマス所ノ經濟政策、又或ル意味ニ於キマシテハ現内閣ノ執ラレタ所ノ唯一ノ經濟政策トシテハ積極政策デアル所ノ此兩法案ガ、何ガ爲ニ斯様ニ貧弱デアリ、斯様ニ不徹底デアルカト云フコトニ付テ、私ハ現内閣ノ經濟政策ニ對スル誠意ニ對シテ多大ノ疑ガアルノデアリマス、諸君、此種法案ノ目的トスル所ハ粗製濫造ノ弊ヲ矯メテ、販賣上ノ競争ノ弊ヲ防ギタイト云フノガ、兩法案ノ目的トシテ政府ノ御説明ニナッテ居ル所デアリマス、然ルニ兩法案ノ内容ヲ見マスト云フト、此目的のスラ達成スルコトハドウデアラウカト思ハレル點ガ多々アルノデアリマス（反対カ贊成カ分ラヌ）ト呼フ者アリ趣意ニハ賛成デアリマス——諸君、獨リ是等ノ粗製濫造ノ弊ヲ防ギ、販賣上ノ競争ノ弊ヲ矯メルコトガ出来ヌノミナラズ、何等貿易振興ニ付テノ根本義ニ觸レテ居リマセヌカラ、此法案ノ實施サル、ニ方々テ、幾何ノ對外貿易

ガ振興サレルト云フコトニ付テハ、私共ハ多大ノ懸念ヲ持テ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク海外貿易ヲ振興セシメマスルニハ、一般ノ物價ヲ引下ダルト云フコト、又今申述ベマシタル所ノ資本ノ合同ヲ行ンテ、規模ヲ大ニシ冗費ヲ省イテ、生産費ヲ低廉ニスルト共ニ、製品ノ改善、統一ヲ圖ルト云フコト、又長期ノ低利資金ヲ供給スルト云フコト、是等ガ對外貿易振興ノ最モ肝要ナル要件デアルト云フコトハ、恐ラクハ何人モ御異議ハナカラウト思フノデアリマス(拍手)此點ニ付キマシテ、委員會ノ經過ニ微シマシテモ、與黨ノ諸君ノ委員モ多大ノ不満ヲ感ゼラレタノデアリマス、諸君、物價政策ニ付キマシテハ吾々ハ不幸ニシテ現内閣ト其所見ヲ異ニスルコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマスケレドモ、今ヤ經濟的國難ニ處シマシテ、今回現内閣ノ爲サレタ如キ、不徹底極マル所ノ財政行政ノ整理ヤ、或ハ口舌言誠ニ依ルノミノ官民一致ノ政策ニ付テ現内閣ガ斯様ナ微溫的政策ニ依テ物價ヲ調節セラレヤウトスル所ノ方法ニ付テハ、甚ダ遺憾ニハ存ズルノデアリマスケレドモ、今日ハ此物價政策ニ付テハ是レ以上ハ論及致シマセヌ、唯此法案ノ骨子ニアリ、目的トスル所ノ粗製濫造ノ弊スルコトハ困難デアリマス、私共ハ此物價政策ニ付テ現内閣ガ斯様ナ微溫的政策ニ付テハ、政府當局ノ御考慮ヲ煩シタイノデアリマス、元來我ガ日本ノ輸出品ハ、御承知ノ如ク生絲トカ——製絲並ニ之ニ依テ製造ト云フト、多クハ南洋、印度支那、濠洲方面ニ出マス所ノ雜貨デアリマス、是等ノ雜

多品デアリマスガ爲ニ、是等ノ工業ハ大抵五百人以下ノ勞働者ヲ使用致シテ居リマス所ノ中小ノ工業デアルノデアリマス、隨テ是等ノ中 小ノ工業ハ其管理ガ甚ダ不徹底デアリ、又其組織ガ至テ貧弱デアルノデアリマス、左様デアリマスガ爲ニ、若シ此法案ニ規定シテ居リマス所ノ検査員ヲシテ、嚴重ニ粗製濫造ヲ防ガる爲ニ検査ヲスルト云フコトニナリマスト云フト、是等小資本ノ集リデアル所ノ工業ト云フモノハ、忽チ立行カナイノデアリマス、若シ此検査ヲ厲行シナイト云フコトニナリマスト云フト、詰リ粗製濫造ノ弊ト云フモノヲ矯メルコトガ出来ヌノデアリマス、要スルニ取締ヲ嚴重ニ致スナラバ、現在ノ工業ト云フモノハ破滅スル外ナイノデアル、若シ取締ヲ厲行シナイト云フコトデアルナラバ、此兩法案ノ目的デアル所ノ粗製濫造ノ弊ヲ矯メルト云フコトハ出来ナイノデアリマス、何レニ致シマシテモ此法律ノミニ依ンテ粗製濫造ノ弊ヲ防イグリ、或ハ販賣ノ競争ヲ防グト云フコトハ甚ダ至難ノヤウニ私ハ思フノデアリマス、ソコデ吾々ノ希望スル所ハ、所謂同種工業ノ資本ノ合同ヲ行シテ、サウシテ規模ヲ大キクシテ、冗費ヲ省イテ生産費ヲ安クスル』同時ニ製品ノ改善統一ヲ圖ル、斯様ナ事ヲヤラナケレバ、到底此法律ノ目的デアリマス所ノ粗製濫造ノ弊ヲ防グト云フコトハ庶幾スルコトハ出來ナイノデアリマス、又政府ハ販賣ノ競争ヲ防グト仰シヤテ居ルノデアリマスケレドモ、此組合ノ規定ニ依リマスト云フト、一部ハ組合ニ這入シテ宜イガ、一部ハ組合ニ入ラナクテモ宜イ、斯ウ云フコトニナシテ居ルノデアリマスカラ、到底此販賣ノ競争ノ弊ヲ矯メルコトハ出來ナイノデアリマス、ソコデ私共利害關係ヲ一ニシテ、サウシテ製品ノ改善ヲヤル、同時ニ商品ハ成ベク生産費ヲ

低廉ニセシムルト云フコトハ絶對必要ト思
フノデアリマス、ソコデ私共ハ農商務大臣
ニ果シテ政府ハ——此生産費ヲ安クシテ規
模ヲ大キクスル爲ニ大量生産ヲ行フ、ソレ
ガ爲ニ資本ノ合同モ必要デアルガ、果シテ
政府ハ之ヲ助長サレル御考デアルカドウカ、
斯ウ云フコトヲ御尋致シタノデアリマスル
ガ、農商務大臣ハ資本ノ合同ハ固ヨリ歡迎
スル、大量生産モ固ヨリ希望スル所デアル
ケレドモ、今日ノ吾々ノ希望シテ居ル所ハ、
之ヲ經營スル所ノ人ガ無イカラ、人材ヲ養
成シテ立派ナ經營者ガ出來ルマデ之ヲ待ツ
ヨリ外ハナイト云フコトヲ農商務大臣ハ御
答ニナシタノデアリマス、私共ガ要求シテ
居ルノハ斯様ナ生温イ話デナイノデアリマ
ス、今經濟的國難ニ陥テ居ルカラ、ドウ
シテモ國力充實ノ爲ニ海外貿易ヲ振興シナ
ケレバナラヌト云フコトヲ要求シタノデア
ル、然ルニ人物ヲ養成シテ、サウシテ自然
ノ儘ニ之ヲ抛棄シヤウ、斯ウ云フコトハ或
ハ農商務大臣ノ御孫サンガ大臣ニデモナラ
レタ時ニハ實現スルカモ知レマセヌガ、私
共ハ斯様ナ手温イコトヲ希望シテ居ルノデ
ハアリマセヌ、斯様ナ譯デ私共ハ此兩法案
ヲ活カシテ、其目的ヲ達成セシメマスルノ
ニハ、ドウシテモ政府自ラ此資本ノ合同ヲ
スルト云フコトヲ助成サレテ、サウシテ大
量生産ノ實ガ一日モ早ク舉ランコトバ希
望シテ已マナイノデアリマス、之ガ私共ノ
希望ノ第一點デアリマスルガ、他ハ只今回
僚ニ依テ述ベラレタ如ク、市場ノ調査、
或ハ販路ノ維持擴張ニ努ムルコト、又此低
利資金ヲ供給スルト云フコト、是ハ非常ニ
重大ナル問題デアリマス、然ルニ低利資金
ノ供給ハ今日此中小工業者ノ最モ渴望シテ
居リマス所ノ問題ハ、六箇月以上少クトモ
一年位ノ長期ニ亘ル所ノ低利資金ノ供給ト
云フコトヲ非常ニ要求致シテ居ルノデアリ
マス、若シ此政府ノ御聲明ニナル如ク組合

が出來テ、サウシテ自然ニ組合ガ統一サレ、
信用ガ出來タ上ニ於テハ、自然ニ此銀行業
者モ金融ノ途ヲ開クデアラウ、斯様ニ組合ノ將
モ隨テ金ヲ貸スデアラウ、斯様ニ組合ノ將
來ノ推移ニ委シテ、此資金供給ト云フコト
ヲ御放任ナサルナラバ、假令組合ガ出來マ
シテモ、其組合ガ健全ナル發達ラスル迄ニ、
此組合ハ消滅致ス虞ガアルノデアリマス、
斯様ナ譯デアリマスルカラ、ドウシテモ此
低利資金ノ供給而モ長期ニ瓦ル低利資金ノ
供給ガ、此法案ヲ實施サル、ト共ニ政府ハ
具體的對案ヲ作ツテ、サウシテ是等ノ人ヒ
ニ融通スル所ノ御聲明ガナサイ限リハ、此兩
法案ト云フモノハ或ハ死文ニ終ル處ガナカ
ラウカト云フコトヲ私共恐レルノデアリマ
ス、是ハ其處ニ居ラシヤル加藤君ノ如キ、
委員會ニ於テ極論サレタノデアリマス(委
員會デナイ)下呼フ者アリ)委員會デアリマ
セヌ——極論サレタノデアリマス、諸君靜
ニ、此經濟政策ハ黨派ニ關係ナク銘々ニ研
究シナケレバナラヌ、委員會ニ於テハ與黨
ノ諸君ハ、政府ノ聲明ニ對シテ甚ダ遺憾ニ
感ゼラレタノデアリマス、斯様ナ譯デアリ
マスカラ、吾々ハドウシテ政府當局ガ此
法案ヲ實施サレルト共ニ、又長期ニ瓦ル低
利資金ニ付テ具體的ノ對案ヲ作成サレルコ
トヲハ私ハ政府當局ニ希望スルノデアリマ
ス、是ハ恐ラクハ委員會ノ經過ニ微シテ、
與黨ノ諸君ト雖モ恐ラクハ異議ガ無カラウ
ト思フ、私ハ本案ニ賛成ヲ致スト共ニ、強
キ意味ニ於テ政府當局ニ向テ御考慮ヲ煩
シタイト思フ點デアリマス、若シ現内閣ガ
組合ヲ造ルケレドモ、資金ノ供給ヲヤラナ
イ、對案ヲ作リ得ナイト云フコトデアルナ
ラバ、世間ノ人ハ或ハ疑フデアリマセウ、
何ノ爲ニ世間ノ人ガ疑フカト申シマスル
ト、現内閣ハ物價日々ニ騰貴シテ、サウシ
テ國民ハ生活ノ脅威ヲ受ケテ居ル、失業者
ハ市中ニ滿チテ居ル、而シテ中流以下ノ家

庭ニハ悲話哀談ガ起テ居ルコトハ日々ノ
新聞紙上ニ於テ明カデアル、又對外爲替ハ
暴落ヲ致シテ、我ガ兌換制度ノ基礎ニ種々
ノ危惧ノ念ヲ懷イテ居ル、我が財政ノ信用
ト云フモノハ地ニ墮チテ居ル、斯様ナ際ニ
拘ラズ現内閣ハ之ニ對シテ何等ノ對案ヲ講
ゼナイガ爲ニ、國民ノ信用ガ地ニ墮ル、國
民ノ信用ガ地ニ墮ルカラ急遽トシテツノ
人氣ヲ得ルガ爲ニ、一時ヲ糊塗スルガ爲ニ
此法案ヲバ提案ナサタト云フコトノ疑ノ
目ヲ以テ見マシテモ、恐クハ辯解ノ言葉ハ
ナカラウト思フノデアリマス、要スルニ現
内閣ハ此世間ノ誤解ヲ解クガ爲ニ、宜シク
今申上ダタ所ノ資本ノ合同ヲ行ツテ、大量生
産ノ實ヲ舉ゲ、同時ニ此法案ノ實施サレル
ト共ニ、資金ノ融通ニ付テハ具體案ヲ作製
サレテ、直ニ組合ニ資金ノ供給ヲ爲サルヤ
ウニ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス、是ハ單
リ吾々ノ意見ノミナラズ、恐ラク國民全體
ノ希望スル所デアラウト思ヒマス

○議長(柏谷義三君) 三土政務次官

(政府委員三土忠造君登壇)

○政府委員(三土忠造君) 只今前田房之助
君ガ政府ノ提案ニ對シテ御賛成下シタコ
トヲ感謝致シマス、而シテ之ニ對スル御希
望ノ廉ニモ度ニ委員會ニ於テ申上ダタ通
り、政府ニ於キマシテハ相當考慮致シテ居
ルノデアリマス、唯此案ノ組織ニ付キマ
シテ前田君ニ誤解ノ點ガアリハセヌカト思
ヒマスカラ、此際ニ於テ正シテ置キマス、
前田君ハ此目的ハ宜イケレドモ、目的遂行
上ニ案共頗ル不徹底デアル、何故ナラバ、此
目的ヲ遂行スル爲ニハ、物價ノ引下ノ政策
ヲ第一ニ講ジナケレバナラヌ、第二ニ資金ノ
強制加入ヲ致サナケレバナラヌ、第三ニ
風ニ言ハレタヤウデアリマスガ、物價引
下ノ政策ハ此法律ノ與リ知ル所デアリマセ
ス、此法律ハ唯、粗製濫造ヲ防止シ、我國

ノ輸出工業品ノ品位ヲ向上シ、生産費ヲ低
廉ニシ海外ノ信用ヲ維持スルト云フコトニ
努メルノガ目的デアリマス、物價政策ハ他
ノ法律デ決メル、此法律デ決メルベキモノ
デアリマセヌ、此法律ガ規定スベキデアリ
マセヌ故ニ、是ハ這入ラテ居リマセヌデモ
不徹底ト云フ誹ハナイト思ヒマス、又資金
ノ關係ニ付テモ、勿論政府ハ資金ノ關係ニ
付テハ考慮シテ居リマスガ、此資金ノ關係
ヲ此團體法制ノ中ニ規定スベキ性質ノモノ
デアリマセヌ、假ニ輸出組合ニ對シテ資金
ヲ供給スルト致シマシテモ、或ハ法律ノ制
定ヲ要セナイカ知レヌ、他ノ方法ニ依リマ
シテ相當低利ノ資金ヲ長期ニ貸付ケル方法
ガアラウト思ヒマス、之ニ就テハ目下攻究
中デアリマス、又工業組合ニ對シマシテ低
利資金ヲ融通スルト致シマシテモ、其融通
ノ方法ハ勸業銀行、農工銀行、興業銀行ノ如
キ、特殊銀行ノ法規ヲ改正スレバ宜イノデ
アリマシテ、此法律其モノニ何ノ關係ハ無
イノデアリマス、又組合ハ強制加入ヲ認メ
テ居ラナイ、一部分ノ者ハ加入シテモ加入
セヌデモ宜イコトニ出來テ居ルカラシテ徹
底シナイト申シマスルケレドモ、御承知ノ
セヌデモ宜イコトニ出來テ居ルカラシテ徹
底シナイト申シマスルケレドモ、御承知ノ
通リ此兩組合法案共ニ、組合員ニ對シマシ
テハ賦課金ノ外出資ヲ要求致シテ居ルノデ
アリマス、凡ソ世界各國ノ團體法制ニ於キ
マシテ、出資ヲ要求スル團體法制ニ強制加
入ヲ認メル所ハ法理上無イ筈デアリマス
(拍手)故ニ此法律ガ成立致シマシタ際ニ於
キマシテ、是ガ十分目的ヲ達スルヤウニ働
カセマスルガ、併ナガラ強制加入ト云フコ
トハ右申ス事情デ認メテ居ラナイ次第デア
リマスルカラ、此段御諒承ヲ願ヒマス(拍
手)○議長(柏谷義三君) 松井君

(松井郡治君登壇)

○松井郡治君 私ハ簡単ニ本案賛成ノ意見
ヲ述ベテ置キタイノデアリマス、本案ハ先

程委員長ガ御申述ニナリマシタヤウニ、委員會ガ満場一致ヲ以テ可決シタ案デアルノアリマス、ソレニ對シテ御希望ガ津崎君カラアリマシテ、ソレモ吾々ハ必要ハ無イト信ジマシタケレドモガ、折角ノ御希望デ体其希望ハ私共ハ大體考ヘマスルノニ、贊成ヲシタ案ニ對シテ而モ其案自身ノ目的ハ、御希望ヲ御述ニナリマスル事、ソレト一致シテ居ル事デアルノデアリマスルカラ、特ニ此場合ニ其希望ヲ述フル必要ガ無イモノデアルト私共ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、然レドモ吾々ハ諸君ト大ニ國事ヲ談ズル上ニ於キマシテ、要ナキ事柄ニ紛争ヲ釀スコトハ甚ダ感心致シマセヌカラ、謹デ諸君ノ申出ニ應ジタ譯デアリマス、デアリマスカラ之レアルガ故ニ只今津崎君並ニ前田君カラハ、或ハ本議場ニ於テ何カ言フコトガアルカモ知レヌカラト云フコトヲ言ハレ葉ニ對シテ聊カ奇異ノ感ヲ懷イテ居タノデアリマス、所ガ只今御申シニナル所ヲ聽キマスルト云フト、其事柄ハ總テ政府ノ提出サレマシタ案ノ理由ノ中ニ書イテアリマスカラ、私ハ簡単ニ申述ベテ見タイト思フ品工業ノ改善發達ヲ期シ貿易ノ振興ヲ圖ルカ爲重要輸出品工業組合法ヲ制定スル必要アリト云ヒ而シテ此説明ト致シマシテハ、當局者ハ從來往々此輸出製品ニ對シテハ粗製濫造ノ弊ガアル、隨テ又中、小工業者中ニ屢々無益ノ競争ヲシタ爲ニ、品質ヲ賣崩ス弊害ガアツクノデアル、其弊害ヲ矯正スル目的デ此案ヲ排ヘマシタノデアツテ、是マデ同業組合ノ働く、動モ致シマスレバ兎角消極的ニ流レテ居タ弊ガアツク、ソレ故ニ今

回ハ積極的ノ此案ヲ提出シテ、即チ粗製濫造ノ弊ヲ防イデ、製品ノ國際信用ヲ博スル爲ニハ是等ノ制度ハ頗ル必要テアルト唱破サレマシタ、又輸出組合法ニ付キマシテモ、今マデ輸出商人ノ中デハ往々資産ノ關係カラシテ、互ニ競争致シテ海外市場ニ賣崩スノ弊害ガアル、サウシテ徒ニ競争ヲ致シマスルカラ、是等無益ノ競争ヲ避ケテ、サウシテ製品ノ統一ヤ連絡ヲ圖リ、共同ノ經營ヲ爲ス爲ニ此案ヲ提出シタト云フコトデアリマスカラ、諸君ノ御心配ニナッテ居ル事柄ハ、一切舉ゲテ政府ノ聲明スル所デアルト由ニ反対ゼンガ爲ニ、或ハ不完全デアルト申シ、或ハ不徹底デアルト申シナガラ、何所ニ不徹底ノ點ガアリ、何所ニ不完全ノ點ガアルノデアリマスカ、私ハソレヲ聽クヲ得ナイ、只今御述ニナリマシタ所ニ依リマシテモ、何等新ナル意見ノ發表ガ無ノニアリマス、是等ノ事柄ニ付キマシテハ、多クノ辯ツヨ弄シマセヌデ可決確定サレンコトヲ希望スルノデアリマス

超過ノ年ガ僅ニ十七年間デアルノデアリマス、更ニ溯テ明治元年ヨリ大正十二年ニ至リマル間ノ對外貿易ノ狀態ヲ見マスルト、輸出入ノ差引計算カ十一億四千三百八十九萬圓ダク輸入超過ニナツ居ルノデアリマス、之ニ大正十三年度ノ六億四千五百万圓ヲ加ヘマスレバ、即チ十七億八千八百八十八餘万圓ノ正貨ガ海外へ流出スル所ノ計算ニナルノデアリマス、之ヲ以テ吾々國民ハ實ニ心細ク感ジテ居リマシタガ、是レ畢竟我が海外貿易ガ常ニ輸入超過デアルト云フ結果ガ此ニ至ルノデアリマス、是ガ即チ今日ノ急務デアルノデアリマス、此時ニ際シテ此輸入超過ヲ轉ジテ、輸出超過ニセヌケレバナラズノデアリマス、是ガ即チ今マシテ我國輸出貿易ノ發展シマスルヤウニ所ガ此二ツノ法律ヲ出サウトシテ、茲ニ提案セラレマシタノハ、實ニ吾々國民トシテハ雙手ヲ舉ゲテ贊成セザルヲ得ヌノデアリマス、アルト云フコトデゴザイマシタガ、私ハ全ク是ト反対デ、斯ノ如キ豊富ナル所ノ法律案ハ無イト思フノデアリマス、其豊富ナルコトハ此兩法律案ヲ御覽ニナレバ、如何ニ豊富デアルカト云フコトハ多言ヲ要セザル所デアリマス、而シテ其徹底的ナルコトニ付キマシテハ、私ハ二三茲ニ其箇條ヲ舉ゲテ申述ベテ見タイト思ノデアリマス、先づ第一ニ於キマシテハ、所謂輸出工業品ヲ製造スルモノハ多クハ小規模ノモノデアル、即チ大規模ノモノハ實ニ少イ、五百人以上ノ職工ヲ使用スル所ノ工場ハ、全國ニ於テ僅ニ四百五十ヲ算スルニ過ギナイ、而シテ百人以下ノ職工ヲ使用スル所ノ工場ハ、是ハ四万八千餘ノ多キヲ算シテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ中小工業者ハ雖然トシテ混在シ、之ガ爲ニ或ハ不利益ナル所ノ無益ノ競争ヲ爲シ、或ハ

粗製濫造ノ弊ニ陥リテ居ルト云フコトハ既ニ諸君御承知ノ事柄デアリマス、之ガ爲ニ茲ニ此法律ヲ制定致シマシテ、是等雖然トシテ混在スル所ノ當業者ヲバ打シテ一團ト爲シ、聯絡統一ヲ圖シテ、以テ協同一致海外市場ニ向ハシムルヤウノ仕組ニナッテ居期スルコトガ出來ルト私ハ考ヘルノデアリルノガ此法律ノ特徴デアリマシテ、之ニ依リマシタナラバ、徹底的ニ大量生産モ之ヲ入シテ製品ノ検査ヲ爲シ、或ハ取締ヲ行ヒ、或ハ事業ノ制限ヲモ加ヘルト云フヤウナ仕事ニ付キマシテハ、即チ製造工程ニマデ立入シテ製品ノ検査ヲ爲シ、或ハ取締ヲ行ヒ、或ハ事業ノ制限ヲモ加ヘルト云フヤウナ仕組ニナッテ居リマス、之ヲ厲行シマスル上ニ於キマシテハ、検査其モノガ徹底的ニ行ハレルト云フコトハ、敢テ多言ヲ要セザルコト、信ズルノデアリマス(拍手)第三ニ於キマシテハ、政府當局者ハ即チ此爲贊督金ト云フコトニ付テハ、特別ノ援助ヲ與ヘルト云フコトヲ申シテ居リマス、此事ハ再三ニ再四繰返サレテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ於キマシテハ吾々共ハ政府當局ノ言明ヲ信ジテ、何等心配スルコトハ要ラスト思フノデアリマス、斯様子次第デ、此法律案ガ實行セラレマシタナラバ、恰モ暗夜ニ太陽ノ現レタルガ如ク、久シク暗雲ニ鎮サレテ居ル所ノ輸出業界ハ、之ガ爲ニ一大光明ガ輝クデアラウト私ハ思フノデアリマス、前田君ハ不徹底デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ不徹底デアルナラバ何故ニ委員會ノ席上ニ於テ、之ス對シテ修正案ヲ提出セラレナカツタノデアリマセウカ、委員會ニ於テ何等修正案ヲ出サズシテ、此席上ニ於テ不徹底呼ハリヲ致サレルノハ、恰モ大ノ遠吠ト同ジ事デアラウト思フノデアリマス(拍手)斯様ナ次第デアリマシテ、私ハ此法律案ニ對シテハ彼此申ス必要ハナイ、雙手ヨ舉ダテ賛成スルト云フ意恩ヲ茲ニ表明シ

モ、是ハ單ニ體面ヲ考ヘルダケデアフテ、何故ニ八年ニシナケレバナラスト云フ論據ハ更ニ無イ、此義務教育年限ヲ論ズルニ付テハ、國民ノ生活ノ程度ト今日ノ我國ノ現状、並ニ將來ニ照シテ如何ナル教育ヲ如何ニスルトカ云フ論ハ成立タヌ筈デアル、然ルニ我國ノ國民ノ生活程度ヲ考慮スルト云アコトハ、或ハ出來ルカモ知リマセヌケレドモ、我國ノ今日ニ鑑ミ、或ハ又將來ニ鑑ミテ、教育ヲ如何ナル程度マデ施スカト、斯ウ云フニツノ問題ヲ解決シナケレバ、義務教育年限ヲ八年ニスルトカ云フ論ハ成立タヌ筈デアル、然ルニ我國ノ國民ノ生活程度ヲ考慮スルト云アコトハ、或ハ出來ルカモ知リマセヌケレドモ、我國ノ今日ニ鑑ミ、或ハ又將來ニ鑑ミテ、教育ヲ如何ナル程度マデ國民ガ受ケナケレバナラヌカト云フコトハ大問題デアル、容易ニ解決ノ出來ナイ問題デアルノデアル、此問題ヲ解決シナイテ、唯、單ニ義務教育年限ヲ八箇年ニ延長スルト云フコトハ何等ノ根據ガアルカ之ヲ承リタイ、第一ニハデス（「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）簡単ニ申上ダマスガ、第二ニハ我國ノ今日ノ國民ハ、自分ノ子弟ヲ教育スルト云フ義務ニ付テ甚ダ冷淡アルカドウカ、若シ我國ノ國民ガ自己ノ子弟ヲ教育スル上ニ於テ甚ダ冷淡デアル、其義務ヲ能ク知ラヌト云フヤウナ事デアルナラバ、義務教育年限ヲ延長シテ、我ガ國民ニ教育ヲ強行シテモ宜イノデアリマスケレドモ、吾々ノ見ル所ニ依テ考フレバ、我ガ國民ハ決シテ大體ニ於テ自己ノ子弟ヲ教育スル義務ヲ等閑ニ考ヘテ居ルモノデハナイト云フコトヲ認メルニアリマス、例へば都會ノ高等小學校ニ進ム兒童ハ卒業生ノ中八九割アル、村落ニ在テハ五、六割アル、是ハ村落ト都會ノ住民トハ義務教育ノ、其義務ニ付テノ程度が多少違フ點モアリマセウガ、概シテ都會ニ於テ小學卒業ノ兒童ハ、村落ト都會ノモ多ク高等小學校ニ入ルト云フコトハ、村落ニ於テハ都會ニ於ケルヨリモ生活ニ餘裕ガ無イカラデアル、又金錢ノ融通ガ、村落ニ於テハ都會ヨリ窮迫シテ居ルカラデア

ル、生活ニ餘裕サヘアレバ、我ガ國民ハ自已ノ子弟ヲ教育スルト云フコトニ於テ、決シテ其義務ヲ盡サヌモノデナイ、其義務ニ對シテ冷淡ナルモノデナインオデアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ國民ニ對シテ法律ヲ以テ義務教育ヲ強ユルヨリモ、寧ロ國家タルモノハ國民ノ生活ニ餘裕ヲ與ヘルコトヲ第一ニ努メナケレバナラス、國民ノ生活ニ餘裕ガアレバ、法律ヲ以テ強行セズトモ、國民ノ教育ハ自ラ行ハレルノデアル、之ヲ山耕君、或ハ文部當局モ、義務教育八年ト云フコトヲ稍、聲明シテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ラル、カ、是ガ第一ノ疑問デアル、第三ノ疑問ハ義務教育ト云フ以上ハ、國家ガ其義務ヲ盡サナケレバナラス、今日我國ガ義務教育ヲ國民ニ強イテ居テ、サウシテ果シテ十分ニ断言シテ揮ラヌノデアリマス、第一ニ明治四十年ニ義務教育年限ヲ六年ニ延長シマシタ、其以前ニハ四年デアフタ、義務教育年限ガ四年デアフタ時モ、師範學校ノ修業年限ハ四年デアル、義務教育年限ヲ六年ニ延長シテモ、師範學校ノ教育修業年限ト云フモハ、矢張四年デアル、今日モ然リデアル、第一ニ義務教育ヲ國民ニ強行スルニ於テ、我ガ國民ニ教育スル義務ヲ等閑ニ考ヘテ居ルモノデハナイト云フコトヲ認メルニアリマス、例へば都會ノ高等小學校ニ進ム兒童ハ卒業生ノ中八九割アル、村落ニ在テハ五、六割アル、是ハ村落ト都會ノ住民トハ義務教育ノ、其義務ニ付テノ程度が多少違フ點モアリマセウガ、概シテ都會ニ於テ小學卒業ノ兒童ハ、村落ト都會ノモ多ク高等小學校ニ入ルト云フコトハ、村落ニ於テハ都會ニ於ケルヨリモ生活ニ餘裕ガ無イカラデアル、又金錢ノ融通ガ、村落ニ於テハ都會ヨリ窮迫シテ居ルカラデア

ル、生活ニ餘裕サヘアレバ、我ガ國民ハ自己ノ子弟ヲ教育スルト云フコトニ於テ、決シテ其義務ヲ盡サヌモノデナイ、其義務ニ對シテ冷淡ナルモノデナインオデアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ國民ニ對シテ法律ヲ以テ義務教育ヲ強ユルヨリモ、寧ロ國家タルモノハ國民ノ生活ニ餘裕ヲ與ヘルコトヲ第一ニ努メナケレバナラス、國民ノ生活ニ餘裕ガアレバ、法律ヲ以テ強行セズトモ、國民ノ教育ハ自ラ行ハレルノデアル、之ヲ山耕君、或ハ文部當局モ、義務教育八年ト云フコトヲ稍、聲明シテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ラル、カ、是ガ第一ノ疑問デアル、第三ノ疑問ハ義務教育ト云フ以上ハ、國家ガ其義務ヲ盡サナケレバナラス、今日我國ガ義務教育ヲ國民ニ強イテ居テ、サウシテ果シテ十分ニ断言シテ揮ラヌノデアリマス、第一ニ明治四十年ニ義務教育年限ヲ六年ニ延長シマシタ、其以前ニハ四年デアフタ、義務教育年限ガ四年デアフタ時モ、師範學校ノ修業年限ハ四年デアル、義務教育年限ヲ六年ニ延長シテモ、師範學校ノ教育修業年限ト云フモハ、矢張四年デアル、今日モ然リデアル、第一ニ義務教育ヲ國民ニ強行スルニ於テ、我ガ國民ニ教育スル義務ヲ等閑ニ考ヘテ居ルモノデハナイト云フコトヲ認メルニアリマス、例へば都會ノ高等小學校ニ進ム兒童ハ卒業生ノ中八九割アル、村落ニ在テハ五、六割アル、是ハ村落ト都會ノ住民トハ義務教育ノ、其義務ニ付テノ程度が多少違フ點モアリマセウガ、概シテ都會ニ於テ小學卒業ノ兒童ハ、村落ト都會ノモ多ク高等小學校ニ入ルト云フコトハ、村落ニ於テハ都會ニ於ケルヨリモ生活ニ餘裕ガ無イカラデアル、又金錢ノ融通ガ、村落ニ於テハ都會ヨリ窮迫シテ居ルカラデア

ル、生活ニ餘裕サヘアレバ、我ガ國民ハ自己ノ子弟ヲ教育スルト云フコトニ於テ、決シテ其義務ヲ盡サヌモノデナイ、其義務ニ對シテ冷淡ナルモノデナインオデアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フ國民ニ對シテ法律ヲ以テ義務教育ヲ強ユルヨリモ、寧ロ國家タルモノハ國民ノ生活ニ餘裕ヲ與ヘルコトヲ第一ニ努メナケレバナラス、國民ノ生活ニ餘裕ガアレバ、法律ヲ以テ強行セズトモ、國民ノ教育ハ自ラ行ハレルノデアル、之ヲ山耕君、或ハ文部當局モ、義務教育八年ト云フコトヲ稍、聲明シテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ラル、カ、是ガ第一ノ疑問デアル、第三ノ疑問ハ義務教育ト云フ以上ハ、國家ガ其義務ヲ盡サナケレバナラス、今日我國ガ義務教育ヲ國民ニ強イテ居テ、サウシテ果シテ十分ニ断言シテ揮ラヌノデアリマス、第一ニ明治四十年ニ義務教育年限ヲ六年ニ延長シマシタ、其以前ニハ四年デアフタ、義務教育年限ガ四年デアフタ時モ、師範學校ノ修業年限ハ四年デアル、義務教育年限ヲ六年ニ延長シテモ、師範學校ノ教育修業年限ト云フモハ、矢張四年デアル、今日モ然リデアル、第一ニ義務教育ヲ國民ニ強行スルニ於テ、我ガ國民ニ教育スル義務ヲ等閑ニ考ヘテ居ルモノデハナイト云フコトヲ認メルニアリマス、例へば都會ノ高等小學校ニ進ム兒童ハ卒業生ノ中八九割アル、村落ニ在テハ五、六割アル、是ハ村落ト都會ノ住民トハ義務教育ノ、其義務ニ付テノ程度が多少違フ點モアリマセウガ、概シテ都會ニ於テ小學卒業ノ兒童ハ、村落ト都會ノモ多ク高等小學校ニ入ルト云フコトハ、村落ニ於テハ都會ニ於ケルヨリモ生活ニ餘裕ガ無イカラデアル、又金錢ノ融通ガ、村落ニ於テハ都會ヨリ窮迫シテ居ルカラデア

